システムキッチン
サンヴァリエ〈リシェル〉

SYSTEM KITCHEN SUNVARIE

RICHELLE

サンヴァリエ〈リシェル〉

取扱説明書

このたびはサンヴァリエ<リシェル>をお買いあげいただき、ありがとうございます。お使いになる前に、この説明書をお読みいただき、安全にご使用くださいますようお願いいたします。

この取扱説明書は加熱機器や電気製品などの専用の取扱説明書と一緒に、いつでも使える場所に大切に保管してください。

●転居される場合は、新しく入居される方が商品を安全にお使いいただくために、この取扱説明書を新しく入居される方、または取り次ぎされる方にお渡しください。 Ⓗ

もくじ

リシェルの特長 …… 4

各部の名称 …… 5
- 壁付キッチン・インテリアゲートキッチン …… 5
- センターキッチン …… 6
- パーテーション対面キッチン …… 7
- 対面キッチンユニット …… 8

安全に関するご注意 …… 9

ワークトップまわり …… 11
- ワークトップ …… 11
- シンク …… 11
- オプション（水切りプレート・水切りワイヤートレー・水切カゴ）…… 13
- ゴミ収納器付排水トラップ …… 14
- 水栓金具 …… 18

キャビネットまわり …… 19
- 扉 …… 19
- ニースペース …… 19
- イス …… 19
- 引出し …… 20
- 引出しの最大積載重量 …… 21
- 包丁差し …… 22
- らくパッと収納 …… 22
- シンクキャビネット用・加熱機器キャビネット用・調理台用ポケット …… 23
- パッとシェルフ …… 24
- アシストポケット …… 26
- L 型コーナースライドストッカー …… 27
- スライドパレット …… 28
- スイングポケット …… 28
- インテリアゲート対面収納 …… 28
- スライドバスケット …… 29
- スライド米びつ …… 29
- 棚板収納 …… 29
- サイドトールキャビネット …… 29

ウォールユニットまわり …… 30
- フラップ折り戸タイプ …… 30
- ダウンウォールタイプ …… 31
- オートダウンウォール …… 31
- 開き扉 …… 31
- クイックポケット …… 31
- クイックパレット …… 31
- 照明付吊戸 …… 31
- 昇降式吊戸棚 …… 32

収納ユニット …… 33
- スライディングドアストッカー …… 33
- 2 ウェイクローゼット（アクセスウィンドウ）…… 33
- ジョイントストッカー …… 34

コーナーストッカー …… 34
コーナークローゼット …… 35
蒸気排出ユニット付収納（家電タワー・家電収納・コーナー家電収納） …… 36
リサイクル収納 …… 38

センターキッチン …… 39
対面キッチンユニット …… 39
ＩＨ用空気清浄システム …… 39

扉キャッチ・引出しキャッチ …… 41
扉キャッチ付キャビネット・引出しキャッチ機構付キャビネット …… 41

サンウォーレ …… 41
サンウォーレタイルアートシリーズ …… 41

オプション …… 42
引出し用仕切パーツ …… 42
ハンディーゾーン収納 …… 43
その他オプション …… 43
コンロ前用ガラス …… 43
シンク前スクリーン …… 43

長くお使いいただくために・調整方法 …… 44
扉の調整・取外し方 …… 44
引出しの調整 …… 44
らくパッと収納扉の調整 …… 47
Ｌ型コーナースライドストッカー鏡板の調整 …… 47

長くお使いいただくために・お手入れ方法 …… 48
ワークトップまわり …… 48
ステンレス …… 49
人造大理石 …… 50
ゴミ収納器付排水トラップ …… 53
扉 …… 55
引出し …… 56
取手 …… 56
アシストポケット …… 56
コンロ前用ガラス・防熱カバー …… 57
油はねガード …… 57
サービスカウンター …… 57
サンウォーレタイルアートシリーズ …… 57

収納例 …… 58

故障・修理について …… 60

アフターサービスについて …… 62

保証書 …… 63

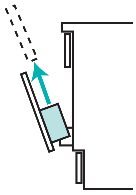
<リシェルの特長>

■サンヴァリエ<リシェル>の特長「らくパッと収納」

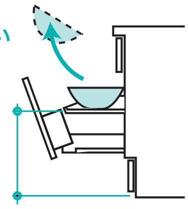
調理行動を分析し導きだされた「らくパッと収納」
流れるようなやさしいフォルムと明るいオフホワイトの内装カラー、収納物を清潔で明るく見せ、快適に気持ちよく使えます。調理中の立ち位置を大きく変えることなく、軽い力で引き出しを引き出すことができて、モノが飛び出してくるように見やすい収納です。そしてラクな姿勢で取り出せます。

スムーズな調理の流れを実現した４つの特長

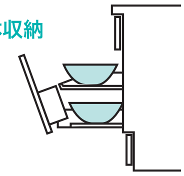
特長１ 頻繁に出し入れする包丁やおたま、ラップはその場でサッと取り出せます。



特長２ 調理の途中で使うボウル類は、腰をかかめずラクに取り出せます。



特長３ あまり使わない大きな鍋などは、まとめて下段に収納できます。



特長４ テコの原理を利用した開閉機構により、引出しを引くのに合わせて扉が傾き軽い力で開けられます。

各部の名称

下図はレイアウトの参考図です。
レイアウトによって左右勝手・扉・シンクなどが図と異なります。

■壁付キッチン

●電気・ガス・水を使用する機器や特殊な機能を持った製品には専用の取扱説明書があります。これらについては専用の取扱説明書を併せてご利用ください。

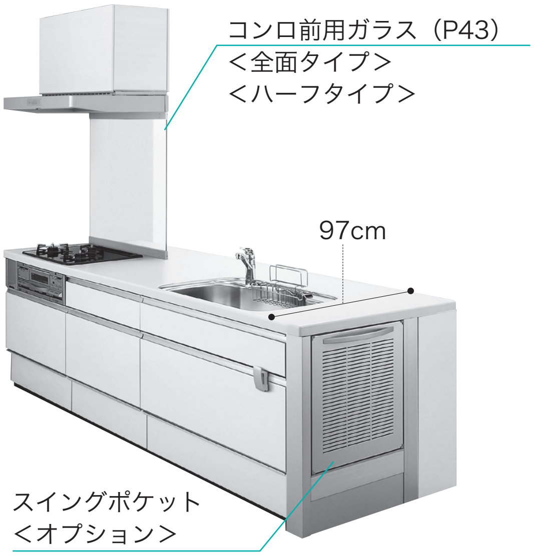
●この説明書は使用上支障のない範囲で略図や 写真を使用して説明しています。お客さまの商品と一部異なる場合もありますので、ご不明の点はお買いあげいただいた販売店か、お客さま相談センターまでご相談ください。

●レンジフードでの煙の捕集は、窓やエアコンなどによる風の流れ、人の動きなどに大きく影響を受けます。調理中は煙を効率よく捕集するために、外部からの風がレンジフード周辺にあたらないように注意してください。

■インテリアゲートキッチン

■センターキッチン

センターキッチン 奥行97cm



ダイニング側は以下のタイプがあります。

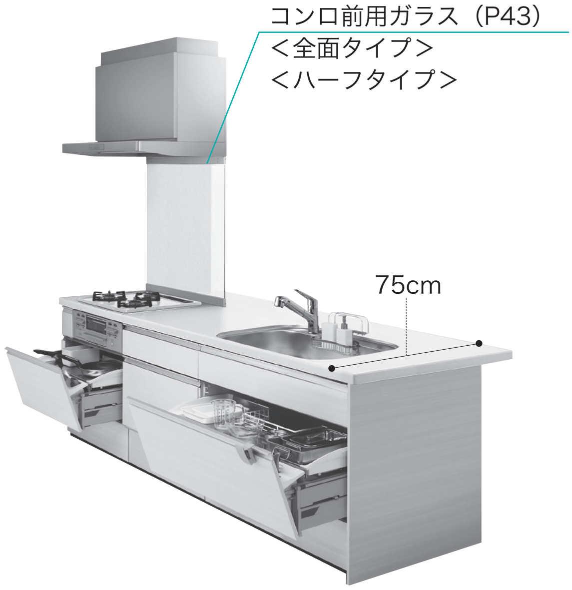
収納・開き扉タイプ

収納・引き戸タイプ

テーブルタイプ

ハーフ収納タイプ

センターキッチン 奥行75cm



ダイニング側は以下のタイプがあります。

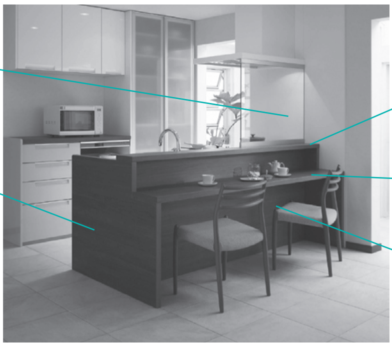
テーブルタイプ

■パーテーション対面キッチン

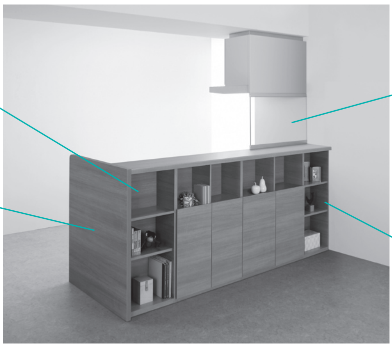
シンプルタイプ

ハイカウンタータイプ

ローカウンタータイプ



リビング収納タイプ（オープン棚タイプ）



■対面キッチンユニット

リビング収納タイプ（開き扉タイプ）

リビング収納タイプ（サイドデスク付タイプ）

リビング収納タイプ（構造壁対応）

リビング収納タイプ　キッチン側　手元収納あり・なし

キッチン側　手元収納あり

キッチン側　手元収納なし

※手元収納ありの場合、リビング側のオープン棚の上段部分は奥行が変わります。

■ダイニング系

安全に関するご注意

ご使用の前に、この「安全上の注意」をお読みの上、正しくお使いください。

●ここに示した注意事項は、守らないと人身事故や、家財の損害に結びつくものをまとめて記載しています。
安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。
●お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる場所に必ず保管してください。
●転居される場合は、新しく入居される方が商品を安全にお使いいただくために、この取扱説明書を新しく入居される方、または取り次ぎされる方にお渡しください。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し説明しています。

⚠注意	この表示を実行しない場合、傷害を負う可能性と物的損害の発生が想定される内容を示しています。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し説明しています。

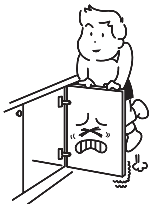
⚠	🚫	❗
この記号は気をつけていただきたいことを「注意喚起」するものです。	この記号は「禁止の行為」であることを告げるものです。	この記号は「必ず実行」していただきたいことを告げるものです。

⚠注意

禁止

扉や取手に乗らない。

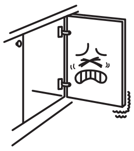
扉に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。丁番がこわれると扉が落下してケガをするおそれがあります。特に、お子さまにはご注意ください。



禁止

扉を大きく開けすぎない。

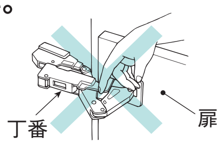
丁番が外れ、ケガをするおそれがあります。



禁止

扉開閉時に丁番にさわらない。

丁番に指をはさんでケガをするおそれがあります。
特にお子さまにはご注意ください。



禁止

高温の油や熱湯を流さない。

排水装置や排水パイプは樹脂部品なので、水もれやつまりのおそれがあります。ゆでこぼしは水を流しながらおこなってください。
また、ステンレスの熱膨張により"ボーン"と音がする事がありますが、製品に問題はありません。

禁止

加熱機器の使用中・使用直後は、加熱機器周辺に手を触れない。

加熱機器周辺の表面温度が高くなっているので、ヤケドをするおそれがあります。

禁止

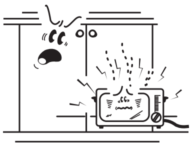
コンセントに水をかけない。

漏電やショートしたり火災のおそれがあります。

禁止

扉を閉めたキャビネット内で電気製品を使わない。

電気製品が故障したり火災のおそれがあります。



禁止

防熱カバーやコンロ前用ガラス、油はねガードに触れない。

使用中・使用後に触れるとヤケドをするおそれがあります。

禁止

火をつけたまま離れたり、外出、就寝をしないでください。

調理中のものが異常過熱し火災など予期せぬ事故の原因になります。
特に天ぷら、揚げものをしているときやグリルを使用しているときは、その場を離れないでください。
離れる時は必ず消火して下さい。

禁止

コンロ・グリル使用中は身体の一部や衣服をバーナー付近や排気口に近づけない

衣服に炎が移ったり、排気熱によりやけどをするおそれがあります。

禁止

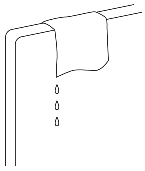
ワークトップやカウンターには絶対にぶらさがらない。

落下してケガをするおそれがあります。

禁止

エンドパネルにぬれた布巾等を掛けない。

長時間ぬれたまま放置するとふくれたり剥がれたりするおそれがあります。



禁止

コンロ前用ガラスの防熱カバーを外して加熱機器を使用しない。

コンロ前用ガラスの表裏が高温になるおそれがあります。

お手入れで取外す以外は必ず設置してください。

禁止

コンロ前用ガラスを急冷しない。

水をかけるなどして急冷すると、ガラスが割れるおそれがあります。

禁止

熱湯の入った茶碗等を置いたままスライドパレットを開閉させない。

茶碗等が転倒し、熱湯でヤケドをしたり落下してケガをするおそれがあります。特に小さなお子さまのいるご家庭ではご注意ください。

禁止

製品を分解しない。

思いがけないケガをするおそれがあります。

必ず実行

扉やエンドパネルに水が掛かったり、食器洗い乾燥機の排熱（蒸気）により結露した場合は、すみやかにふきとる。

長時間ぬれたまま放置すると、ふくれたり剥がれたりするおそれがあります。

必ず実行

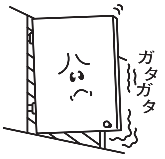
防熱カバー・油はねガードのお手入れの際は、必ず台所用ゴム手袋を着用する。

手を切るおそれがあります。

必ず実行

扉が傾いたりガタついている時は、丁番のネジをしめなおす。

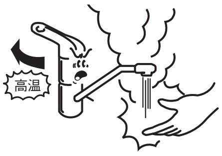
扉が落ちてケガをするおそれがあります。



必ず実行

混合水栓を使用する時は、必ず水を先に出す。

水栓及び熱湯でヤケドをするおそれがあります。特に小さなお子さまのいるご家庭ではご注意ください。



必ず実行

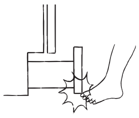
開閉は一段ずつ行う。

上下または左右の引出しをともに開閉すると鏡板同士がこすれて扉にキズがつくおそれがあります。

注意

扉やフロア引出しの開閉時は足先に注意する。

ぶつけたり指をはさんだりして、ケガをするおそれがあります。



注意

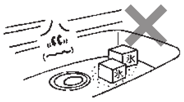
センターキッチンの角に頭や身体をぶつけないように注意する。

思いがけないケガをするおそれがあります。

禁止

シンクの中に長時間、氷を放置しない。

シンクの裏側が結露するおそれがあります。



●キッチン本体以外の機器等には専用の取扱説明書があります。食器洗い乾燥機の排熱（蒸気）によるキッチン本体及び周囲の収納物への影響、また、IH 機器の排熱による周囲の収納物への影響はキッチン本体の注意事項と異なる場合があります。必ずお読みください。

●お手入れに使用する洗剤・薬剤は容器等に記載されている注意事項・禁止事項を必ずお読みください。

ワークトップまわり

ワークトップ

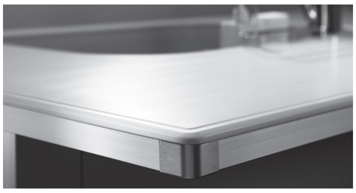
・ワークトップの素材はステンレスと人造大理石があります。
・使い終わったら汚れを水ぶきして、さらに乾ぶきするといつまでもきれいにお使いいただけます。

ステンレストップ

熱や汚れに強くお手入れも簡単なステンレス。

人造大理石トップ

デザイン性の高い人造大理石。



⚠注意

禁止　**ナベなどを引きずらない。**

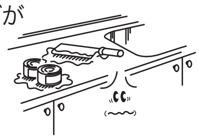
ワークトップの上でナベや大皿などを引きずると、表面にキズがつきますので避けてください。

禁止　**熱いものを直に置かない。**

沸騰したヤカンや熱したフライパン、火のついたタバコは、トップに直接置かず、鍋敷きや灰皿をご利用ください。特に人造大理石トップは熱によって変色するおそれがあります。また、ステンレストップは裏面の補強板がはがれるおそれがあります。

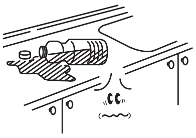
禁止　**ぬれた鉄製品を放置しない。**

ぬれた包丁や缶は長時間放置しないでください。ぬれた鉄製品がサビると、そのサビがステンレスに移りさびさせます。人造大理石の場合はサビの色が移るおそれがあります。



必ず実行　**汚れはすぐふきとる。**

醤油・食酢・煮こぼれ・調味料などの汚れはすぐにふきとってください。放置すると汚れが落ちにくくなり、ワークトップの変色の原因になります。ステンレストップの場合はサビの原因になります。

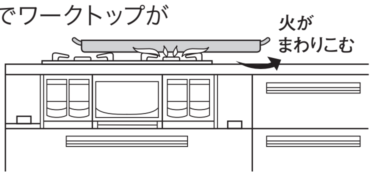


禁止　**衝撃を与えない。**　特に人造大理石トップ

ナベなど硬い物・重い物を落とすと、ワークトップ表面がキズつき、または変形します。人造大理石トップは割れることがありますので気をつけてください。

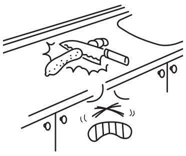
必ず実行　**鉄板を使う時は、はみださないようにする。**

火がまわりこんでワークトップがこげるおそれがあります。



禁止　**包丁などを直接使用しない。**

包丁やナイフなどの刃物をワークトップに直接あてると、表面にキズがつきます。



シンク

シンクの特長

ナベ底などが水の流れをさまたげません。

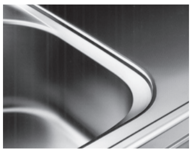
センターポケットシンク　ラウンドシンク　キレイシンク

ワイヤーポケットは外して水洗いができます。ぬれたまな板を収納できるまな板スタンド付きです。

センターポケットシンク　ラウンドシンク　ラクリーンシンク　キレイシンク

シンクの周囲には水滴がたまりにくい傾斜をつけています。

ラウンドシンク

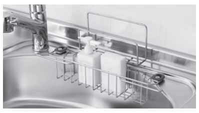
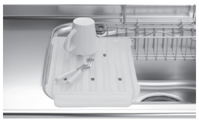
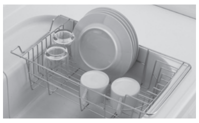


排水フタにも内部にも、ステンレス素材を採用。シンク底面と排水口をつなぐ大型リングがないのでお手入れが簡単です。

ラクリーンシンク

シンクの素材はステンレスと人造大理石があります。
それぞれ素材に応じた使い方、お手入れ方法を確認してください。
お手入れ方法は、(P48)を参照ください。

シンク一覧

名称・寸法	**キレイシンク** 内寸:W77×D51cm 		**ラクリーンシンク** 内寸:W76×D50cm 		**ラクリーンコンパクトシンク** 内寸:W61×D45cm 		**センターポケットシンク** 内寸:W76×D50cm 		**ラウンドシンク** 内寸:W65×D45cm 	
	バリアコートNEO		デュアルコート		デュアルコート		デュアルコート		デュアルコート	
	あり	なし	あり	なし	あり	なし	あり	なし	あり	なし
主な特長	●汚れをはじくバリアコート付。 ●すみずみまでお手入れしやすいシンク形状&シームレス仕上げ。 ●水はね音も排水音も静かな静音設計。	●すみずみまでお手入れしやすいシンク形状&シームレス仕上げ。 ●キズがついても補修可能。(補修キット付き) ●水はね音も排水音も静かな静音設計。	●汚れにもキズにも強いデュアルコート&スムースドットエンボス。 ※デュアルコートシンクは、表面にキズや汚れがつきずらいコーティング処理をしてありますが、「キズが入らない」「汚れない」ものではありません。 ●排水フタも排水口もステンレス素材を採用。 ●人造大理石トップとの継ぎ目が掃除しやすいピタッとジョイント。 ●水はね音も排水音も静かな静音設計。	●排水フタも排水口もステンレス素材を採用。 ●水はね音も排水音も静かな静音設計。	●汚れにもキズにも強いデュアルコート&スムースドットエンボス。 ※デュアルコートシンクは、表面にキズや汚れがつきずらいコーティング処理をしてありますが、「キズが入らない」「汚れない」ものではありません。 ●排水フタも排水口もステンレス素材を採用。 ●人造大理石トップとの継ぎ目が掃除しやすいピタッとジョイント。 ●水はね音も排水音も静かな静音設計。	●排水フタも排水口もステンレス素材を採用。 ●水はね音も排水音も静かな静音設計。	●汚れにもキズにも強いデュアルコート&スムースドットエンボス。 ※デュアルコートシンクは、表面にキズや汚れがつきずらいコーティング処理をしてありますが、「キズが入らない」「汚れない」ものではありません。 ●大きな鍋も洗いやすいセンターポケット形状。 ●水はね音も排水音も静かな静音設計。	●大きな鍋も洗いやすいセンターポケット形状。 ●水はね音も排水音も静かな静音設計。	●汚れにもキズにも強いデュアルコート&スムースドットエンボス。 ※デュアルコートシンクは、表面にキズや汚れがつきずらいコーティング処理をしてありますが、「キズが入らない」「汚れない」ものではありません。 ●コンパクトでも作業しやすいラウンド形状。 ●水はね音も排水音も静かな静音設計。	●コンパクトでも作業しやすいラウンド形状。 ●水はね音も排水音も静かな静音設計。
付属品	まな板スタンド付きワイヤーポケット ※まな板スタンドなしも選べます。 		まな板スタンド付きワイヤーポケット ※まな板スタンドなしも選べます。 		まな板スタンド付きワイヤーポケット ※まな板スタンドなしも選べます。 		まな板スタンド付きワイヤーポケット ※まな板スタンドなしも選べます。 		まな板スタンド付きワイヤーポケット ※まな板スタンドなしも選べます。 	
オプション	水切りワイヤートレー 		水切りプレート 		水切りプレート 		水切りプレート 		水切りプレート 	
	水切りカゴ 		水切りカゴ 		水切りカゴ 		水切りカゴ 		水切りカゴ 	
	セットボウル 									

オプション

■水切りプレート（センターポケット用・ラウンドシンク用・ラクリーンシンク用）

シンクを広く、効率よく使えるコンパクトな水切りプレート。

小さくても充分に調理作業をサポートし、
ちょっとした水切りにも使えます。

（センターポケット用）

（ラウンドシンク用）

（ラクリーンシンク用）

■水切りワイヤートレー（キレイシンク用）

ワイヤー式の水切りトレー

洗った野菜の水切りや
ぬれたものの仮置きに便利です。

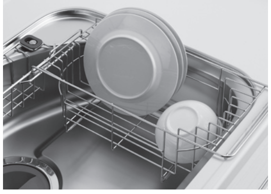
（キレイシンク用）

■水切りカゴ（各シンク専用）

シンク内にぴったり納まる専用水切りカゴ。

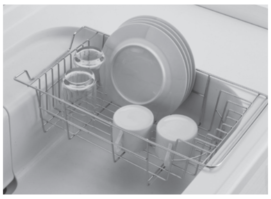
シンク内やワークトップの上に置いて使い方に合わせて使用できます。

センターポケットシンク
フランジシンク用



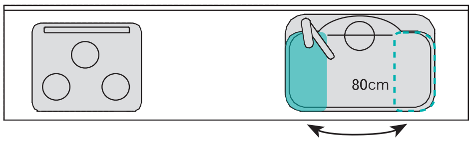
ラウンドシンク用

ラクリーンシンク用



キレイシンク用

水切りプレート・水切りワイヤートレー・専用水切りカゴはシンク端にセットします。
使い方に合わせてシンクのどちら側でも使えます。



図はセンターポケットシンクです。シンク種によってシンク排水が異なります。

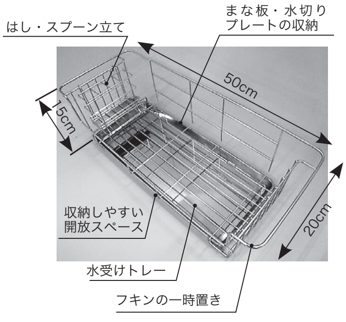
必ず実行

ガタつきがないことを確認する。

水切りプレート・水切りワイヤートレー・専用水切りカゴはシンク端で安定します。中途半端な位置で使用すると、ガタついたりひっくり返ったりするおそれがあります。

■水切りカゴ（片面オープンタイプ）

シンク脇 20cm 幅にも置けるスリムな水切りカゴ。
スリムながらも充分な容量と使い勝手を確保しています。

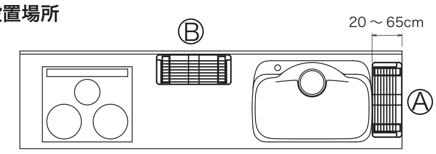


■使用例

片側が解放されているので中華鍋も水切りできます。

オプションの水切りプレートもカゴに入れて乾燥できます。持ち手の部分はフキンの一時置きに使えます。

おすすめの設置場所



Ⓐシンクサイドに 20cm 以上のスペースがある場合
Ⓑシンクサイドにスペースがない場合

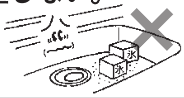
⚠注意

禁止
高温の油や熱湯を流さない。
排水装置や排水パイプがいたんで水もれの原因となります。ゆでこぼしは水を流しながらおこなってください。油を流すことは自然環境を守る意味からも絶対に避けてください。
また、ステンレスの熱膨張により、"ボーン" と音がする事がありますが、製品に問題はありません。

禁止
シンク周辺の樹脂部分に高温の油や熱湯をかけない。
変質や変形のおそれがあります。

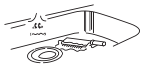
禁止
水切りプレート・水切りワイヤートレーの上に重量物を置かない。
トレーが変形します。

禁止
シンクの中に長時間、氷を放置しない。
シンクの裏側が結露するおそれがあります。

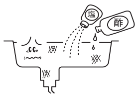


禁止
まな板スタンドに、まな板以外の重量物を収納しない。
収納物が不安定になることがあります。

禁止
ぬれた鉄製品を放置しない。
ぬれた包丁や缶などはシンクに長時間放置しないでください。サビが移る（もらいサビ）ことがあります。



必ず実行
塩分や洗剤・漂白剤などはすぐに洗い流す。
醤油・食酢・調味料・梅干しなど塩分の強いものや洗剤・漂白剤などはすぐに洗い流してください。放置するとサビや変色の原因になります。



必ず実行
ワイヤーポケットまたはキレイシンク用エプロンおよびラックは、シンクの所定位置にきっちりとセットする。

必ず実行
シンクに三角コーナーなどを設置する場合はゴミをこまめに捨てる。シンクに汚れが垂れた場合はすぐに水で洗い流す。

ラクリーンシンク・人大シンク用ゴミ収納器付排水トラップ（小型排水トラップ）

・排水部は継ぎ目のないシームレスジョイントでお手入れ、お掃除がしやすくなっています。
・ラクリーンシンクの排水口（てまなし排水口）の接続部分の汚れ落としには歯ブラシを使用すると便利です。
・ゴミかごは細かいゴミも逃がしません。

■小型排水トラップの名称

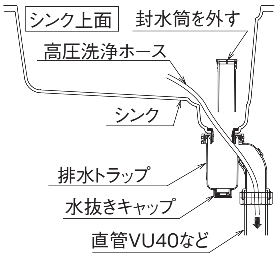
■使い方

●封水筒が必ず口金内にはまった状態でゴミかごを置いて使用します。
●封水筒は必ず水を溜めて使用してください。溜めないと配水管内の臭い等が上がってくるおそれがあります。

■小型排水トラップの高圧洗浄方法

トラップの配水管が、VU管などの直管配管接続の場合、高圧洗浄ができます。排水パイプ接続の場合、パイプが破れますので、高圧洗浄はおこなわないでください。

①封水筒を外します。
②シンク上部から高圧洗浄作業をおこないます。
③洗浄後、外した部品は確実に締込みながら取付けてください。



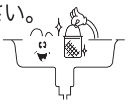
⚠注意

禁止
粘度のあるものや、油類を流さない。
おかゆや調理で残った油などを流すと固まってしまい、トラップの詰まりの原因になります。誤って流してしまった場合は、お湯を鍋等にいっぱいにくみ、数回流してください。

禁止
市販の排水口用水切りネットを使用しない。
市販の排水口用水切りネットを使用すると、ゴミかごの詰まりの原因になったり、排水能力が低下します。

必ず実行
排水トラップ、ゴミかごを使用する。
排水カップ、ゴミかごを取付けずに排水をおこなうと、トラップ内にゴミ等が流入し、トラップの詰まりの原因になります。

必ず実行
ゴミはこまめに捨てる。
ゴミかごにたまったゴミは、すぐに捨ててください。ゴミかごにゴミをためておくと、排水能力が低下し、ゴミが腐って臭気の原因になります。



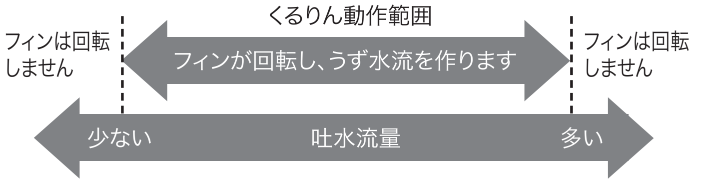
ゴミ収納器付排水トラップ　ラクリーンシンク・キレイシンク用（くるりん排水口用小型排水トラップ）

・水を流すたびにうず状の水流が排水口内部の汚れを洗浄します。
・排水部は継ぎ目のないシームレスジョイントで、お手入れ、お掃除がしやすくなっています。
・ラクリーンシンクの排水口（てまなし排水口）の接続部分の汚れ落としには歯ブラシを使用すると便利です。
・ゴミかごは細かいゴミも逃がしません。

■使い方

・特別な使い方は何もありません。くるりん排水口は水道水の流れを利用してフィンを回し、うず水流を作ります。いつもどおりに水を使うだけでうず状の水流が排水口内部の汚れを洗浄します。

調理器具を洗う　食器を洗う　シンクを洗う



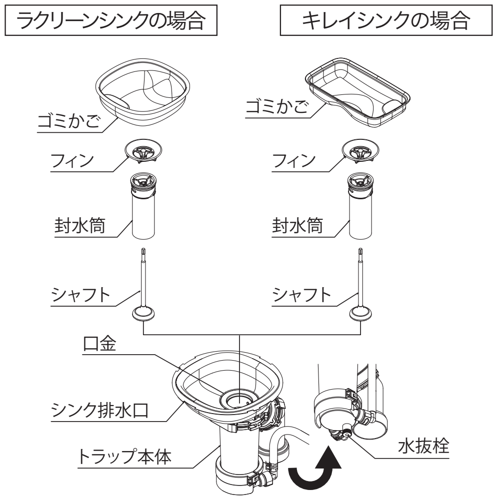
●故障ではありません

【吐水流量が多い場合】
またはフィン・シャフトに無理な力がかかった場合、大量に排水した場合
・フィンに一定以上の力がかかると安全のためフィンが回転しなくなります。
　※レバーハンドルが湯水の中央で吐水する場合は流量が増えるため
　　フィンが回転しないことがあります。
　※音や振動が出ることがありますが一度吐水を止めると元に戻ります。
　※吐水流量が多過ぎる場合は止水栓で流量調整を行ってください。

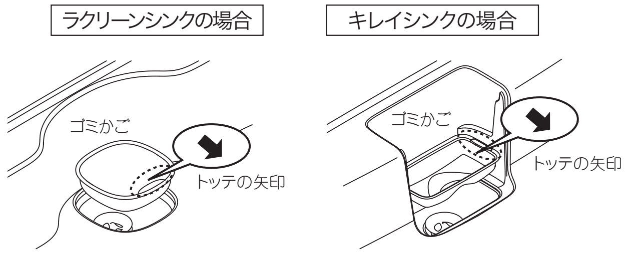
【吐水流量が少ない場合】　または浄水を吐水する場合
・吐水流量が少ない場合や浄水を吐水する場合、フィンが回転しなかったり
　回転が遅いことがあります。

●封水筒は必ず水を溜めて使用してください。溜めないと排水管内の臭い等があがってくるおそれがあります。
●くるりん排水口は汚れを抑制するもので清掃不要になるものではありません。定期的に清掃をおこなってください。
使用・環境条件（流量・ゴミ・室温等）によっては、効果が異なります

■くるりん排水口用小型排水トラップの名称

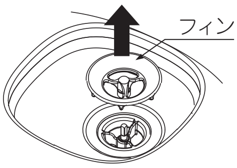


■ゴミかごの設置方法

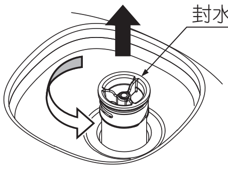


●ゴミかごはトッテ部分の矢印がシンク手前側を向くように設置してください。正しく設置しないと排水や汚れ落ちを損なうおそれがあります。
●ゴミかごを変形させないでください。フィンが正常に作動しなくなったり、汚れ落ちを損なうおそれがあります。
※ゴミかごが変形した場合はゴミかごを交換してください。

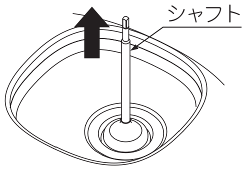
■フィン・封水筒・シャフトの取外し方



①フィンを真上に引き上げる。



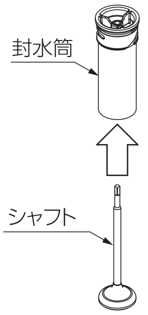
②封水筒を回しながら引き上げる。



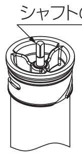
③シャフトを真上に引き上げる。

■シャフト・封水筒・フィンの取付け方

①封水筒にシャフトを差し込む。

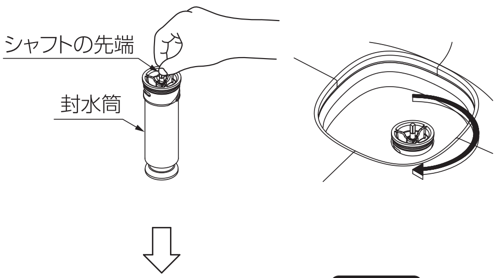


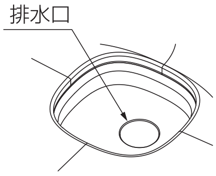
確　認



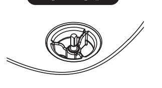
●シャフトの先端が封水筒の真ん中から出ていること。

②シャフトの先端を持ち封水筒と一緒に排水口部分からトラップ本体に差し込み、封水筒を回しながらロックする。



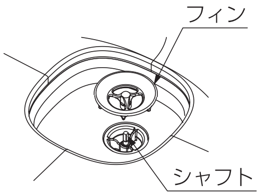


確　認

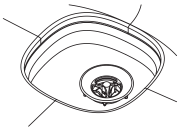


●封水筒が確実にロックしていること。
●シャフトの先端が封水筒の真ん中から出ていること。

③シャフトの先端にフィンを取付ける。



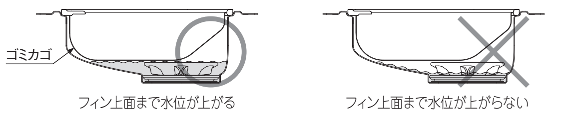
確　認



シャフトがフィンの奥までささっていること。

■回転数（水位上昇）の目安

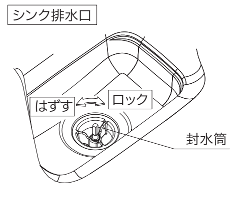
水栓から吐水水量が3L /min（※）になるようレバーを開けたとき、フィン上面まで水位があがる状態が正しい回転数の目安です。
（※：1ℓの容器をいっぱいにするのに約20秒）

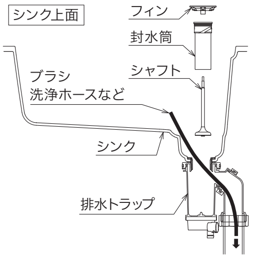


ポイント
ゴミカゴは必ず設置して確認する。
分かりにくい場合はゴミカゴをはずして確認してください。

■高圧洗浄方法

トラップの排水管がVU管などの直管配管の場合、高圧洗浄ができます。排水パイプの場合、パイプが破れますので高圧洗浄はおこなわないでください。
①フィン・封水筒・シャフトの順に取外します。
②シンク上面から清掃します。
③清掃後、封水筒にシャフトを差し込み、シャフトの先端を持ちトラップ本体に差し込んでロックし、フィンを取付けます。



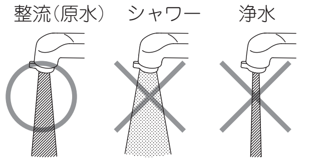


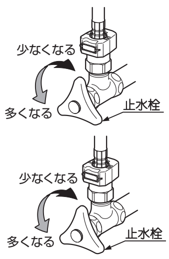
■流量調整方法

くるりん排水口は水栓の水流を利用してフィンを回転させています。吐水流量が多すぎるとフィンがうまく回転しません。
水栓の切り替えレバーを整流にしてレバーを全開にしたときに、シンク排水口でフィンが勢いよく回り続けるように止水栓で流量を調整してください。流量調整の目安は6L/min（※）以下です。
(※：1リットルの容器をいっぱいにするのに約10秒)

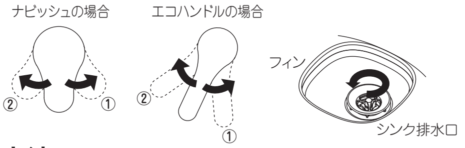
ポイント

流量の調節は整流に切り替えて行う。



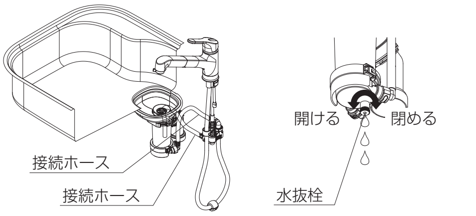


流量調整は必ず以下①、②それぞれでの状態で行ってください。
① レバーハンドルが水側いっぱい
② レバーハンドルが湯側いっぱい
※水栓からの吐水は10秒以上行ってフィンが回り続けることを確認してください。
※レバーハンドルが湯水の中央の場合は流量が増えるためフィンが回転しないことがあります。（故障ではありません）
※湯水の流量は同じになるように調整してください。



■水抜き方法

凍結が予想される場合は、次の手順で水抜をしてください。水栓の水抜きは水栓に同梱の取扱説明書の水抜き方法を確認してください。
①くるりんの水抜栓を開ける。
　※そのまま30秒間放置してください。
　※洗面器等で排出される水を受けてください。
②くるりんの接続ホースを水抜栓より上に持ち上げ、
　振って完全に水を抜く。
③水栓に同梱の取扱説明書に必ず戻り、手順に従って水抜きを完了する。水栓側の水抜き完了後、必ずくるりんの水抜栓をしめてください。



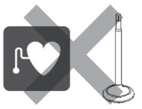
■修理を依頼される前に

簡単に故障が直る場合がありますので、修理を依頼される前に下記項目をご確認ください。

現象	点検内容	処置	参照項目
吐水してもフィンが回転しない（回転が遅い）	流量調整はよいか?	止水栓を適正流量に調整する。	取扱説明書　流量調整方法
	フィン・シャフト・封水筒は正しく取付けられているか?	正しく取付ける。	取扱説明書　取付け方
	フィン・シャフト・封水筒に異物の噛み込みはないか?	フィン・シャフト・封水筒の清掃。	取扱説明書　お手入れ方法
	トラップ底部への異物堆積はないか?	堆積物をおし流す。	取扱説明書　お手入れ方法
異音がする	流量調整はよいか?	止水栓を適正流量に調整する。	取扱説明書　流量調整方法
	フィン・シャフト・封水筒は正しく取付けられているか?	正しく取付ける。	取扱説明書　取付け方
	フィン・シャフト・封水筒に異物の噛み込みはないか?	フィン・シャフト・封水筒の清掃。	取扱説明書　お手入れ方法
	トラップ底部への異物堆積はないか?	堆積物をおし流す。	取扱説明書　お手入れ方法
水栓からの吐水流量が少ない	止水栓は十分開いているか?	止水栓を十分開く。	
	水栓のストレーナーが目詰まりしていないか?	ストレーナーを清掃する。	水栓の取扱説明書
スムーズに排水されない	ゴミカゴの目が汚れでふさがっていないか？	ゴミカゴの清掃。	取扱説明書　お手入れ方法
	ゴミカゴがゴミでいっぱいになっていないか。	ゴミを捨てる。	
	ゴミカゴは正しい向きで設置されているか？	正しく設置する。	取扱説明書　ゴミカゴの設置方法

⚠注意

禁止
電子医療機にシャフトを近づけない。
シャフト部分に磁石を使用しております。心臓ペースメーカーなどに近づけないでください。安全性については電子医療機器の取扱説明書をご覧ください。



禁止
磁気カードなどの磁気記録媒体にシャフトを近づけない。
データが破壊されて使用できなくなるおそれがあります。また、パソコン、テレビ画面、電子腕時計等の精密電子機器に近づけると故障の原因になるおそれがあります。

禁止
シャフトに他の磁石をくっつけない。
磁力の強さ、磁石の種類によっては磁力が低下し機能を十分果たさなくなるおそれがあります。

禁止
シャフトに鉄粉や鉄片を付着したままにしない。
サビや動作不良の原因になるおそれがあります。付着した鉄粉や鉄片は、乾いた布やティッシュなどでつまみ取るように取り除いてください。

禁止
回転しているフィンに手や鋭利なものを近づけない。
手や鋭利なものが触れると思わぬケガをするおそれがあります。

禁止
トラップに砂などの異物を流さない。
トラップ内に堆積し、フィンが回らなくなるおそれがあります。

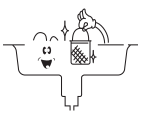
禁止
部品を落としたり過度な衝撃を与えない。
衝撃により破損するおそれがあります。

禁止
粘度のあるものや、油類を流さない。
おかゆや調理で残った油などを流すと固まってしまい、トラップの詰まりの原因になります。誤って流してしまった場合は、お湯を鍋等にいっぱいにくみ、数回流してください。

禁止
市販の排水口用水切りネットを使用しない。
市販の排水口用水切りネットを使用すると、ゴミかごの詰まりの原因になったり、排水能力が低下します。

必ず実行
付属部品を全て設置して使用する。
ゴミかご・フィン・封水筒・シャフトはすべて設置して使用してください。トラップの詰まりや思わぬ不具合につながるおそれがあります。

必ず実行
ゴミはこまめに捨てる。
ゴミかごにたまったゴミは、すぐに捨ててください。ゴミかごにゴミをためておくと、排水能力が低下したり、汚れ落ちを損なうおそれがあります。



必ず実行
ゴミかごは正しい向きで使用する。
排水や汚れ落ちを損なうおそれがあります。

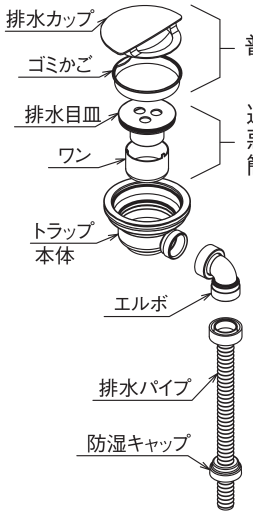
必ず実行
定期的にお掃除をする。
汚れによりフィンが回らなくなるおそれがあります。

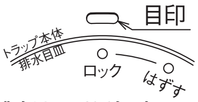
ゴミ収納器付排水トラップ（カップイントラップ）

・お手入れがラクなトラップです。・ゴミかごは細かいゴミも逃がしません。・排水カップは、上にナベを置いても水が流れます。

■カップイントラップの各部の名称

シンク種によって排水カップの形状が異なります。





■排水目皿の取外し方
排水目皿の3つ穴に指を差込み、『目印』の位置に『はずす』が来るように排水目皿を左に回します。

■排水目皿の取付け方
トラップ本体、排水目皿を清掃し、ゴミ等がかみ込まないように注意してください。
『ワン』を入れ、『目印』の位置に『はずす』が来るように排水目皿を置き、『ロック』の位置に右に回します。

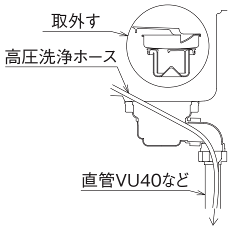
■使い方

●排水目皿は、常に目印を『ロック』状態で使用する。
『ロック』状態以外でご使用の場合、臭気漏れの原因となります。
●必ずワンに水をためる。
ワンを外した後は必ず水をためてください。ためないと、排水管内のにおい、虫等が上がってくるおそれがあります。

■カップイントラップの高圧洗浄方法

トラップの配水管が、VU管などの直管配管接続の場合、高圧洗浄ができます。
排水パイプ接続の場合、パイプが破れますので、高圧洗浄はおこなわないでください。

①排水カップ・ゴミかご・ワン・排水目皿を外します。
②シンク上部から高圧洗浄作業をおこないます。
③洗浄後、外した部品は確実に締込みながら取付けてください。



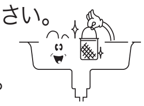
⚠注意

禁止
粘度のあるものや、油類を流さない。
おかゆや調理で残った油などを流すと固まってしまい、トラップの詰まりの原因になります。誤って流してしまった場合は、お湯を鍋等にいっぱいにくみ、数回流してください。

禁止
市販の排水口用水切りネットを使用しない。
市販の排水口用水切りネットを使用すると、ゴミかごの詰まりの原因になったり、排水能力が低下します。

必ず実行
排水トラップ、ゴミかごを使用する。
排水カップ、ゴミかごを取付けずに排水をおこなうと、トラップ内にゴミ等が流入し、トラップの詰まりの原因になります。

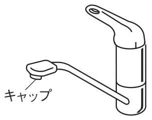
必ず実行
ゴミはこまめに捨てる。
ゴミかごにたまったゴミは、すぐに捨ててください。
ゴミかごにゴミをためておくと、排水能力が低下し、ゴミが腐って臭気の原因になります。



水栓金具

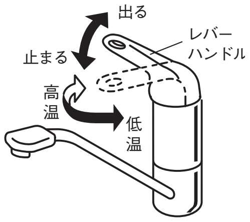
付属の専用取扱説明書を必ずお読みください。

ご使用にあたってのお願い
吐水口キャップがつまると水量が少なくなったりします。
時々キャップをはずし、網につまったゴミを取除いてください。



■水栓の使い方

●レバーハンドルの操作
ゆっくり動かしてください。急に操作すると音が出たり、温度が急に変わります。



●水量の調整
レバーハンドルを上げると水が出て、下げると水が止まります。
水量はレバーハンドルを上げるにしたがって多くなります。

●温度の調整
レバーハンドルを左方向に回すと温度が上がり、右方向に回すと下がります。

■水栓金具の維持管理について

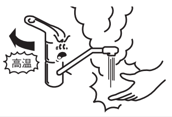
水栓金具を安全・快適に長くご使用いただくために、定期的な点検及び部品交換をお願いします。

●定期的な点検について
年２回以上は水まわりの水漏れがないか点検してください。
※見えない部分(フロアキャビネット内)は特に注意が必要です。

●定期的な交換について
逆止弁の交換：安全を確保するために、3～5年ごとに逆止弁を交換してください。摩耗・劣化する部品の交換：パッキン等が摩耗・劣化すると水漏れの原因となります。定期的に部品交換を行ってください。

⚠注意

必ず実行
混合水栓を使用する時は、必ず水を先に出す。
水栓及び熱湯でヤケドをするおそれがあります。特に小さなお子さまのいるご家庭ではご注意ください。



キャビネットまわり

扉

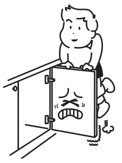
扉の種類にはお手入れが楽な扉と天然木を使用した扉があります。天然木を使用した扉は、自然素材特有の色のバラツキ、斑、節など素材特有の表情があり、同じ模様の扉はなく、表情豊かな味わい深い表現となっております。時間が経つにつれて「色合い」が変化して深み、味わいが増していきます。天然素材の特長をご理解ください。

⚠注意

禁止

扉や取っ手に乗らない。

扉に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。丁番がこわれると扉が落下してケガをするおそれがあります。特に、お子さまにはご注意ください。



禁止

包丁差しには包丁を指定本数以上入れない。

指定本数以上入れると、扉の開閉時などに包丁がひっかかったり落ちてケガをするおそれがあります。

禁止

扉にテープを貼らない。

扉にセロハンテープやガムテープを貼ると、粘着剤で表面が侵されます。また、剥がした後は汚れが残るおそれがあります。

注意

スライドドアに指を挟まない。

ドアを開閉する時、指などをはさまないようご注意ください。
特に、お子さまにはご注意ください。

必ず実行

包丁がきちんと納まったか確認する。

包丁は刃先から入れ、正しく納まったか確認してください。落とすとケガをする危険があります。十分注意してください。

必ず実行

扉をやさしく開閉する。

扉は軽い力で開閉できます。あまり強い力をいれずに開閉してください。
扉は90度以上開きます。隣のキャビネットや壁などに当てないよう気をつけてください。扉や取っ手にキズがつきます。

必ず実行

ぬれたら柔らかい布ですぐ拭く。

フクレたり、変色するおそれがあります。

必ず実行

スライドドアをやさしく開閉する。

スライドドアは軽い力で開閉できます。あまり強い力をいれずに開け閉めしてください。引出しを出したままで開閉すると、ドアや収納物を破損するおそれがあります。

ニースペースタイプ

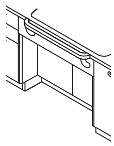
ニースペースタイプにはサポートバーが付いています。
手すりとしてもたれたり、立ち上がる時につかまると便利です。

⚠注意

禁止

サポートバーにぶらさがらない。

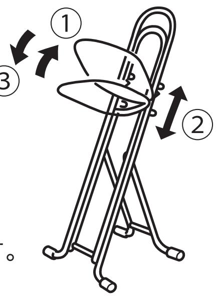
落下してケガをするおそれがあります。
取付け強度は60kgです。



イス

付属の専用取扱説明書を必ずお読みください。

● ニースペース用のイスは、作業に応じて高さがかえられます。
次の手順で調整してください。



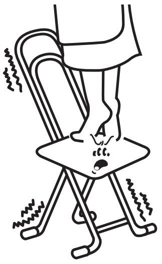
①座面を持ち上げます。
②希望の高さに調整します。
③座面を下げ、しっかりと押さえます。

⚠注意

禁止

イスは踏み台として使わない。

転倒のおそれがあります。



引出し

なめらかに動きます。全開するので奥の物もラクに取り出せます。
引出しは取手の中央付近を持って開け閉めしてください。

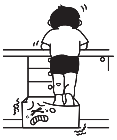
●外し方・はめ方

P45調整方法を参照ください。

⚠注意

禁止 **引出しに乗らない。**

引出しを踏み台代わりに使ったり、お子さまが乗って遊んだりすると、落下してケガをする危険があります。絶対に乗らないでください。



禁止 **食器洗い乾燥機の上下引出しには温度や湿気の影響を受けるものを収納しない。**

排熱により高温になることがあり、内容物が劣化したり容器が破損するおそれがあります。
パッケージに記載されている注意事項などをご確認の上、高温多湿をきらうものは収納しないでください。

禁止 **包丁差しには包丁を指定本数以上入れない。**

指定本数以上入れると、引出しの開閉時などに包丁がひっかかったり落ちてケガをするおそれがあります。

必ず実行 **包丁差しは所定の場所で使用する。**

所定の場所以外で使用すると、引出しの開閉時などに包丁が落ちてケガをするおそれがあります。
お手入れで外したら必ず元の位置に戻してください。

必ず実行 **包丁がきちんと納まったか確認する。**

包丁は刃先から入れ、正しく納まったか確認してください。落とすとケガをする危険があります。
十分注意してください。

必ず実行 **引出しは一段ずつ開閉する。**

上下段ともに開閉すると上段と下段の鏡板がこすれるおそれがあります。

注意 **ガスコック及びガス管に注意する。**

収納物がガスコックおよびガス管に干渉するとガスもれするおそれがあります。

注意 **収納物の保存方法に注意する。**

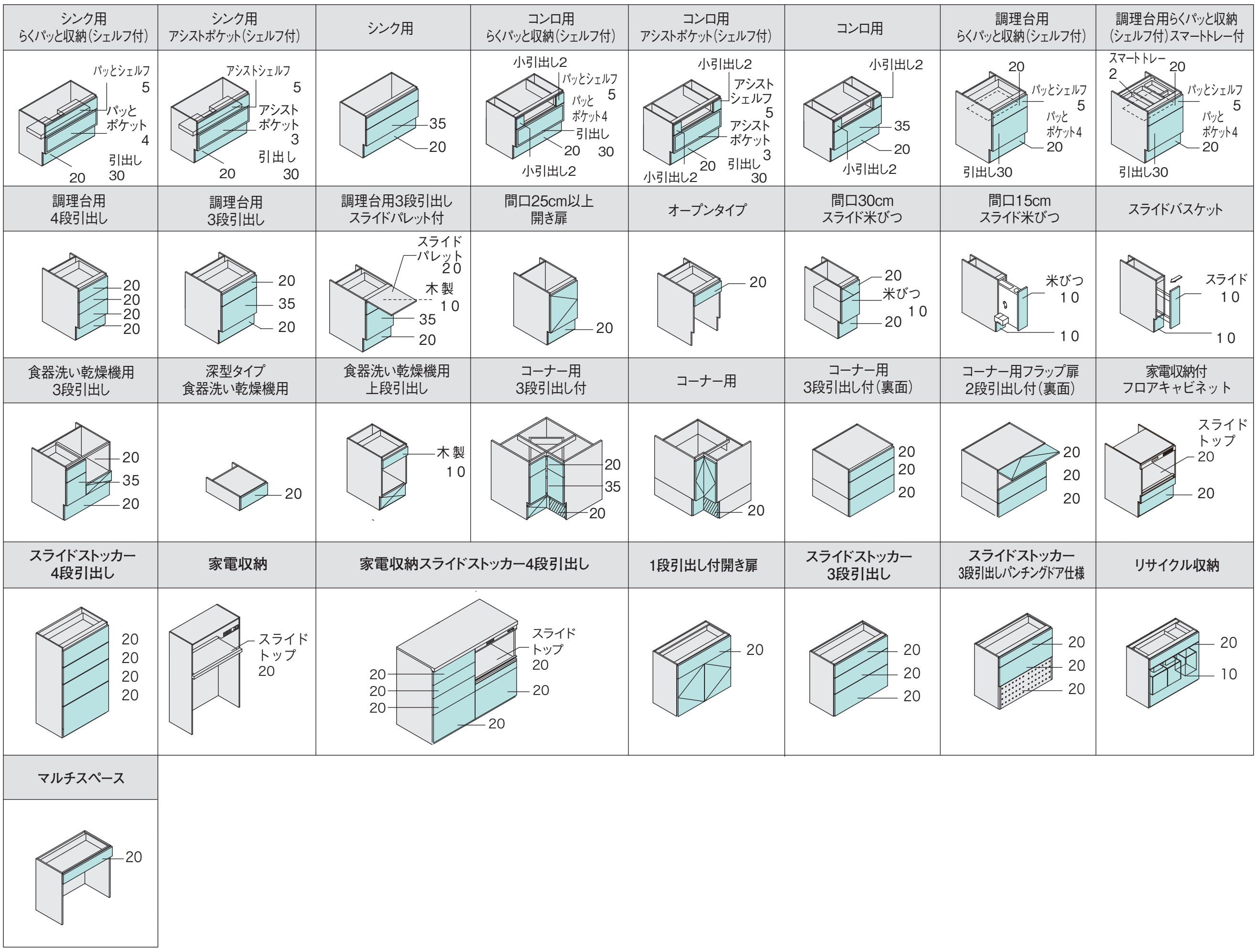
IH機器は、排熱温度により下側・横側の温度が高くなることがあります。特に調味料・食品（醤油、みりん、調理酒）などは、温度により風味が落ちる可能性がありますので容器に記載された方法でご使用・保存してください。

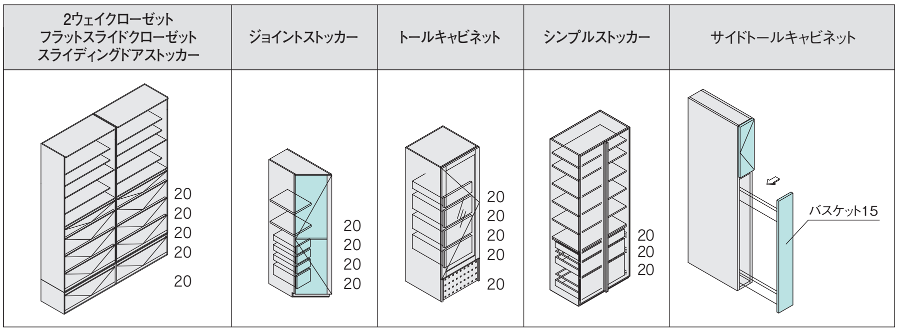
引出しの最大積載重量

必ず実行

最大積載重量を守って安全にご使用ください。
また、のせすぎたり、重たいものを一カ所に集中させないでください。
引出しの開閉に支障をきたすおそれがあります。

引出しスペース　最大積載量一覧 （単位）kg





▼収納物の重量の目安

品名	サイズ	重量	品名	サイズ	重量
ボウル	直径 20cm	約 0.3kg	天ぷら鍋	直径 23cm	約 1.0kg
雪平鍋	直径 18cm	約 0.5kg	土鍋	直径 28cm	約 2.5kg
片手鍋	直径 18cm	約 1.0kg	茶碗	直径 12cm	約 0.2kg
両手鍋	直径 23cm	約 1.2kg	皿	直径 23cm	約 0.5kg
フライパン	直径 26cm	約 1.0kg			

包丁差し（引出しタイプ・扉タイプ） ※らくパッと収納は P22を参照ください。

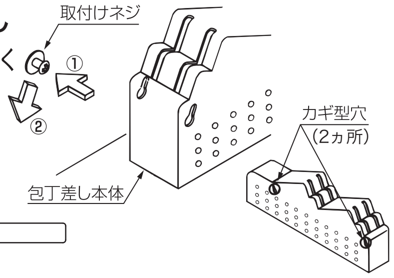
引出しタイプ（収納可能な包丁数：4）

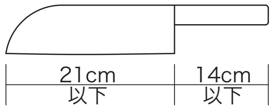
●包丁差しの取付け

①本体2ヵ所のカギ型穴部を取付けネジに差し込みます。
②本体斜め下方にかるくスライドさせると固定されます。

●包丁差しの取外し

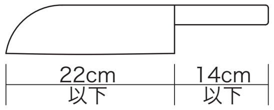
本体を上方にかるくスライドします。

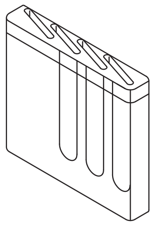




扉タイプ（収納可能な包丁数：4）

扉タイプは固定です。取外しできません。





⚠注意

必ず実行

包丁差しに包丁を納めるときは、刃先から入れ、正しく納まったか確認してください。落とすと指や手足にケガをするおそれがあります。出すときもまっすぐ引き出してください。刃渡りの長い包丁は包丁差しより下に刃物が出る場合があります。十分に注意してください。

らくパッと収納

引出しを引くのに合せ扉が傾き、軽い力で引出しが開けられます。
一度の開口でぱっと見渡せて、必要な物がラクに取出せます。

必ず実行

らくパッと収納に収納する前に<収納できるサイズの目安>と<最大積載重量>を確認する。

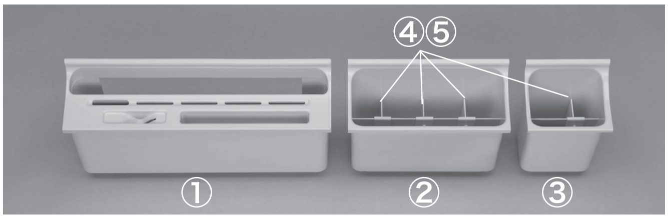
指定以上の収納物を入れると、引出しの開け閉めの時にひっかかり収納物が落ちて思わぬケガをするおそれがあります。

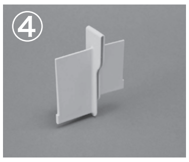
<収納できるサイズの目安>

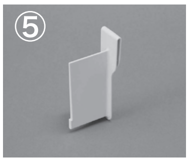
	目　安	一般的なサイズ･重量 ／ 備考	
まな板	幅 430mm× 厚 30mm 以下	木製まな板:幅 400mm× 厚 30mm× 奥 230mm 樹脂製まな板:幅 410mm× 厚 15mm× 奥行 230mm	全てのものについてデザイン･構造によっては制限(目安)の範囲内であっても収納できない場合があります。
包丁	200mm 以下　150mm 以下	万能 (三徳) 包丁:柄～刃先 180mm ＋ 柄 130mm	
菜箸	330mm 以下 350mm 以下	菜　箸:300 ～ 350mm 揚げ箸:400mm 以上 菜箸は直立しない(斜めに倒れる)ので 360mm のものも収納できますが、開閉動作の途中で幕板と干渉する可能性もあるため、350mm 以下としています。	
お玉 ターナー	350mm 以下	お　玉　類:280mm ～ 310mm ターナー類:290mm ～ 340mm	
ボトル調味料		ガラスボトルはガラスが重いため、重量オーバーにならないよう注意が必要です。	
油類	サラダ油:1kg 以下	1.5kg のボトルは収納できません。	

シンクキャビネット用ポケット

全部で最大積載重量 ： 4kg まで







①包丁差しポケット
　収納物：包丁（5）・パン切り（1）・キッチンハサミ（1）
②③小物ポケット ※
　収納物：ラップ・ホイル・ゴミ袋・泡たて器・トング
　　　　　木べら・菜ばし・マッシャー 等
④仕切りダブル
⑤仕切りシングル

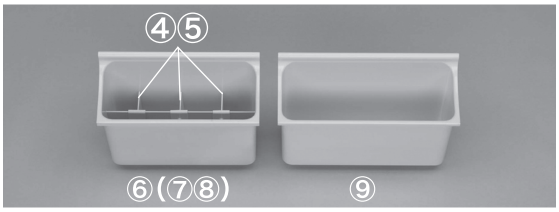
※シンクキャビネット用の小物ポケットには、２種類のサイズがありキャビネットの間口サイズによりポケットの数とポケットのサイズが 異なります。

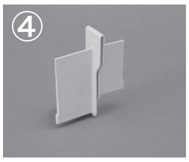
■シンクキャビネット用ポケット類 内装品セット一覧

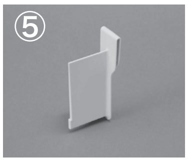
	w1050	w900	w750
①包丁差しポケット	1ヶ	1ヶ	1ヶ
②小物ポケット(300)	1ヶ	1ヶ	—
③小物ポケット(150)	1ヶ	—	1ヶ
④仕切りダブル	2ヶ	2ヶ	—
⑤仕切りシングル	2ヶ	1ヶ	1ヶ

加熱機器キャビネット用ポケット

全部で最大積載重量 ： 4kg まで







⑥（⑦⑧）小物ポケット ※
　収納物：お玉類・ターナー類・菜ばし・ミトン　等
⑨ボトルポケット
　収納物：サラダ油（1kg）・健康油
　　　　　オリーブ油・ごま油　等
④仕切りダブル
⑤仕切りシングル

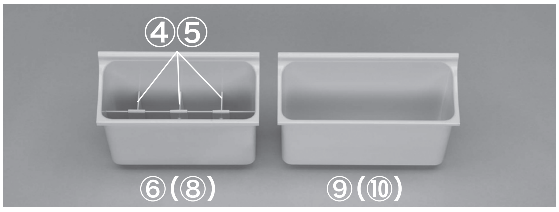
※加熱機器キャビネット用の小物ポケットには、３種類のサイズがありキャビネットの間口サイズによりポケットの数とポケットのサイズが 異なります。

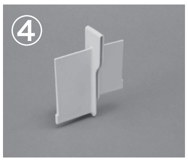
■加熱機器キャビネット用ポケット類内装品セット一覧

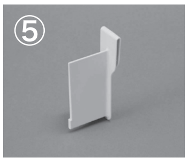
	w900	w890	w750	w740	w600
⑥小物ポケット(300)	1ヶ	—	1ヶ	—	—
⑦小物ポケット(290)	—	1ヶ	—	1ヶ	—
⑧小物ポケット(150)	1ヶ	1ヶ	—	—	1ヶ
⑨ボトルポケット(320)	1ヶ	1ヶ	1ヶ	1ヶ	1ヶ
④仕切りダブル	2ヶ	2ヶ	2ヶ	2ヶ	—
⑤仕切りシングル	2ヶ	2ヶ	1ヶ	1ヶ	1ヶ

調理台（サイドキャビネット）用ポケット

全部で最大積載重量 ： 4kg まで







⑥（⑧）小物ポケット ※
収納物：パスタ・カットわかめ・ふりかけ・竹串　等
⑨（⑩）ボトルポケット
収納物：酢・本みりん・料理酒　等
④仕切りダブル
⑤仕切りシングル

※調理台（サイドキャビネット）用の小物ポケットとボトルポケットには、２種類のサイズがありキャビネットの間口サイズによりポケットの数とポケットのサイズが 異なります。

■調理台（サイドキャビネット）用ポケット類内装品セット一覧

	w800	w750	w600	w450	w350	w300
⑥小物ポケット(300)	1ヶ	1ヶ	—	—	—	—
⑧小物ポケット(150)	—	—	1ヶ	—	—	—
⑨ボトルポケット(320)	1ヶ	1ヶ	1ヶ	1ヶ	—	—
⑩ボトルポケット(170)	—	—	—	—	1ヶ	1ヶ
④仕切りダブル	2ヶ	2ヶ	—	—	—	—
⑤仕切りシングル	1ヶ	1ヶ	1ヶ	—	—	—

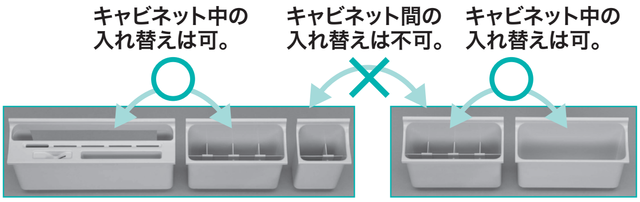
必ず実行

ボトルポケット・小物ポケットに油ボトル・調味料類を収納する前にそれぞれの保存方法の表示を読んで、その指示に従って収納する。

禁止

パッとポケットはキャビネットをまたいで入れ違い、入れ替えはしない。

正しく収まらないことがあります。そのまま引出しの開け閉めをすると、ポケットが外れて思わぬケガをするおそれがあります。

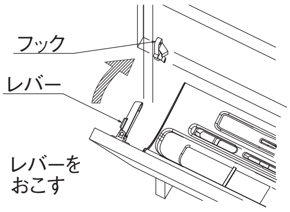


安全装置（チャイルドロック）

シンクキャビネット用ポケットには、包丁が収納できるため、チャイルドロックが付いています。

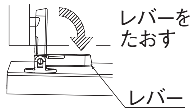
●ロックのしかた

①扉を開いた状態でレバーを起こしてください。
②レバーを起こしたままで扉を閉めると、フックにレバーがかかりロックする状態になります。



●ロック解除のしかた

扉を少し開いた状態で、すき間に手を入れてレバーを倒してください。



⚠注意

必ず実行

特に小さなお子さまがいるご家庭ではチャイルドロックを必ず利用する。

包丁差しポケットの包丁、キッチンバサミで思わぬケガをする場合があります。

パッとシェルフ（らくパッと収納用インナーストッカー）

らくパッと収納キャビネットには、パッとシェルフ付きタイプと無しタイプがあります。

シンクキャビネット用 パッとシェルフには ザル・ボウル・パット類	調理台（サイドキャビネット）用 パッとシェルフには パン粉・調味料類	加熱機器キャビネット用 パッとシェルフには フライパン・浅ナベ類
	 ※調理台（サイドキャビネット）用にはトレイが付属 	 ※加熱機器キャビネット用にはガス栓カバーが付属（ロングレールタイプには付属しません）

「シェルフについて」

故障ではありません。

●「シェルフ」は、収納物の積載重量が規定重量（5kg）を超えたり、偏って収納されると、連動しない事があります。収納物は規定積載重量を守り、均等に入れてください。

⚠注意

必ず実行

加熱機器がガスコンロの場合は、必ずガス栓の位置に合わせパッとシェルフに設置する。

加熱機器用パッとシェルフにはガス栓を保護するためのカバーが付属されています。

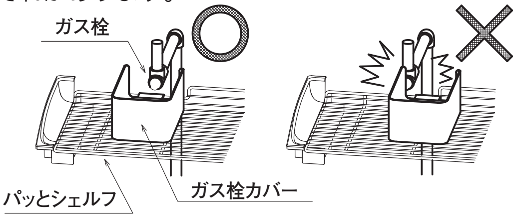
禁止

ガス栓カバーの中に物を入れない。

必ず実行

ガス栓が必ずガス栓カバーの中に入るように使用する。

ガス栓カバーがガス栓に当たり、ガス漏れするおそれがあります。



禁止

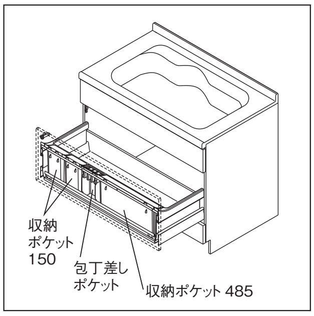
ガス栓カバーを外してパッとシェルフを使うことは、禁止しています。

アシストポケット

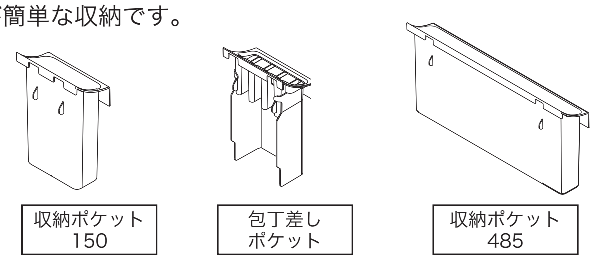
包丁やラップ、まな板などを立てた状態で収納でき、出し入れが簡単な収納です。
引出しを少し開けただけでラクに取出せます。

●シンク前アシストポケット

包丁、まな板、ラップ等を収納します。



●シンク前 アシストポケットの種類



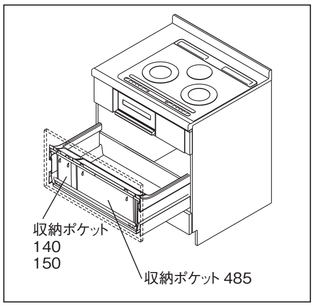
●アシストポケット 内装品対応表

	幅 105cm	幅 90cm	幅 75cm
収納ポケット 485	1 ケ	1 ケ	1 ケ
包丁差しポケット	1 ケ	1 ケ	1 ケ
収納ポケット 150	2 ケ	1 ケ	—

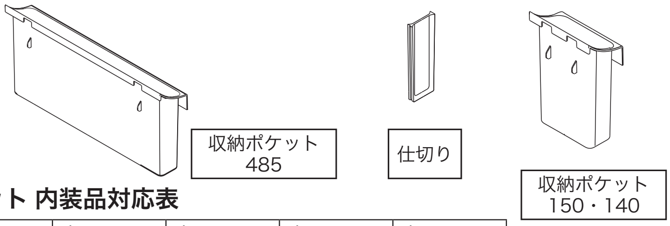
量大量積載重量 3kg

●加熱機器前アシストポケット

お玉類、油凝固材等を収納します。

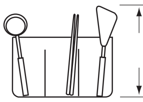


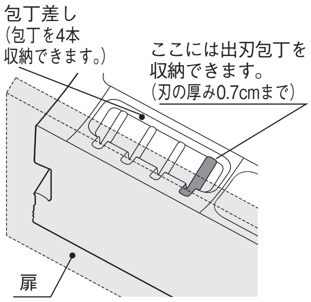
●加熱機器前 アシストポケット



●アシストポケット 内装品対応表

	幅 90cm	幅 89cm	幅 75cm	幅 74cm
収納ポケット 485	1 ケ	1 ケ	1 ケ	1 ケ
収納ポケット 150	2 ケ	1 ケ	1 ケ	—
収納ポケット 140	—	1 ケ	—	1 ケ
仕切り	2 ケ	2 ケ	2 ケ	2 ケ

対象物	目　安	一般的なサイズ	備　考	
ま な 板	幅 45cm×厚 4cm以下	木　樹：幅 40cm×厚 3cm×奥行 23cm 樹脂製：幅 41cm×厚 1.5cm×奥行 23cm		対象物のデザインや構造によっては制限(目安)の範囲内であっても収納できない場合があります。
包　丁	20cm以下 14cm以下	万能包丁：柄～刃先 18cm ＋柄 13cm (三徳)	パン切包丁は収納できません。	
菜 箸 揚 げ 箸 お 玉 類 ターナー類	 シンク下 33cm 以下 コンロ下 31cm 以下	菜　箸：30・33・36cm 揚げ箸：40cm 以上 お玉類：28cm ～ 31cm ターナー類；29cm ～ 34cm	揚げ箸は収納できません。	
ラ ッ プ 類	収納可能	30cm×50m：31.8cm×4.8cm×4.8cm	幅30cmのラップはコンロ下に収納できません。	



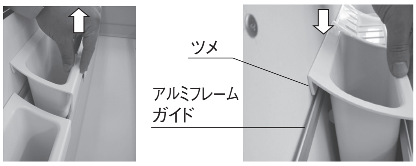
●収納ポケット

外し方

真上に持ち上げ外します。

はめ方

真下に下ろしながら、アルミフレームガイドにツメを確実にはめ込みます。



●仕切り

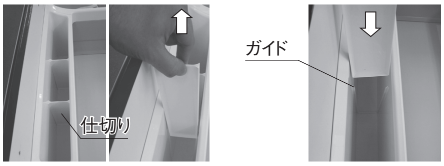
加熱機器キャビネットには仕切りがつきます。

外し方

真上に持ち上げ外します。

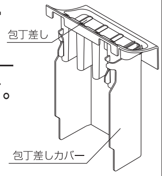
はめ方

ガイドに沿ってはめ込みます。



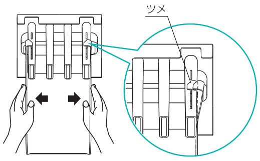
●包丁差しカバー

包丁差しには
安全のためカバー
が付属しています。



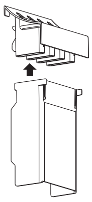
外し方

左右に押し広げ、ツメをはずします。



はめ方

ツメの向きを確かめ、カチッ！と音がするまではめ込みます。



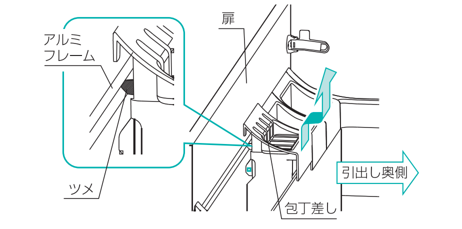
●包丁差し

外し方

包丁差しは内装 BOX とは異なり、外れ難い構造になっています。
真上に持ち上げると、ツメがアルミフレームに当たりますので、引出し奥側に押しながら持ち上げてください。

はめ方

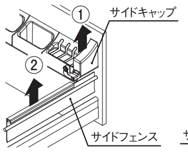
内装 BOX 同様、アルミフレームに確実にはめ込みます。



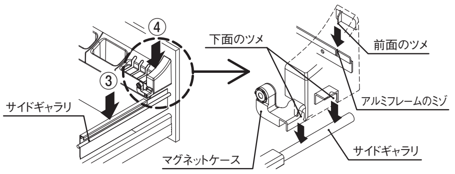
■サイドフェンスの取外し・取付け（シェルフ付の場合）

●サイドキャップ・サイドフェンスの取外し手順

①サイドキャップを真上に引き上げ取外します。サイドキャップとマグネットケースは一体となっているため、同時に取外します。
②サイドフェンスを真上に引き上げ取外します。



禁止 サイドキャップやマグネットケース・サイドフェンスをひねったり無理な力を与えたりしないでください。破損するおそれがあります。



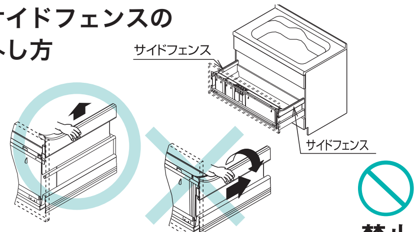
●サイドキャップ・サイドフェンスの取付け手順

③サイドフェンスを真下に降ろしサイドギャラリに取付けます。
④サイドキャップとマグネットケースが一体となっていることを確認し、真下に降ろしてアルミフレームとサイドギャラリに取付けます。

サイドキャップ前面のツメをアルミフレームのミゾに、下面のツメをサイドギャラリにパチンッ！という音がするまではめ込んでください。

■サイドフェンスの取外し・取付け（シェルフなしの場合）

●サイドフェンスの外し方



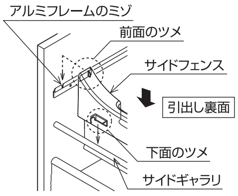
サイドフェンスは真上に引き上げると外れます

禁止
サイドフェンスをひねらない。
引出し奥側に押し込まない。
破損するおそれがあります。

●サイドフェンスの取付け方

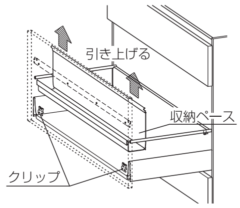
サイドフェンスをサイドギャラリーの上から取付けます。

サイドフェンス前面のツメをアルミフレームのミゾに、サイドフェンス下面（前・後）のツメをサイドギャラリーに、パチッ！という音がするまではめ込んでください。



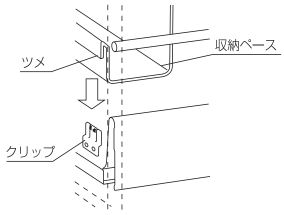
●収納スペースの外し方

真上に引き上げると外れます。
※扉裏面のクリップと左右２箇所で固定されています。



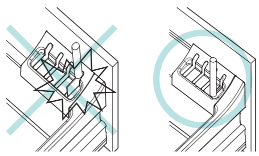
●収納スペースのはめ方

ツメを左右２箇所のクリップにはめ込み固定します。



⚠注意

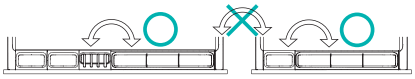
必ず実行 **包丁は図のように正しく収納する。**
不適切な入れ方をすると刃が収納部より飛び出したり刃先が引出し表面をキズ付けるおそれがあります。



必ず実行 **包丁差しに包丁を納めるときは、刃先から入れ、正しく納まったか確認する。**
落とすと指や手足にケガをするおそれがあります。
出すときもまっすぐ引出してください。

必ず実行 **包丁差しポケットを外す場合は、必ず収納されている包丁を全て取り除いておこなってください。**
ケガをするおそれがあります。

禁止 **アシストポケットはキャビネットをまたいで入れ違い、入れ替えはしない。**
正しく収まらないことがあります。そのまま引出しの開け閉めをすると、ポケットが外れて思わぬケガをするおそれがあります。



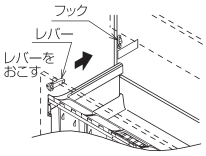
注意 **掃除等を行う際に、部品の端部等でケガをしないように注意する。**

■安全装置（チャイルドロック）

シンクキャビネット用ポケットには、包丁を収納できるため、チャイルドロックが付いています。

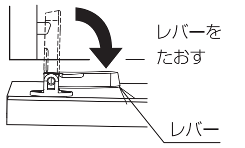
●ロックのしかた

①扉を開いた状態でレバーを起こしてください。
②レバーを起こしたままで扉を閉めると、フックにレバーがかかりロック状態になります。



●ロック解除のしかた

扉を少し開いた状態で、すき間に手を入れてレバーを倒してください。

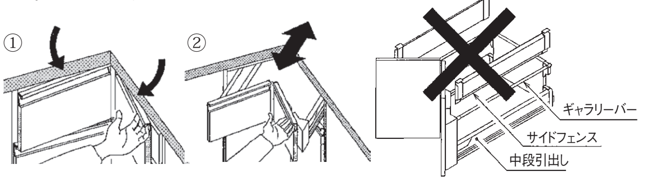


L型コーナースライドストッカー（コーナーキャビネット）

※引出しを引くのに合わせ鏡板が内側に倒れます。

●使い方

①引出しを開くとき
ライン取手の場合は端側を引いて扉を内側へ倒れさせてから引き出してください。
②引出しを操作するとき
レールの向きに沿ってまっすぐに動かしてください。

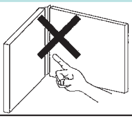


※ステンレス製のキャビネットの場合は、コーナーキャビネット（スライドストッカー）の中段引出しにサイドフェンスが付属していません。
また、ギャラリーバーの高さが他の引出しの場合と異なるため、加熱機器キャビネットの引出しなどからサイドフェンスを移動しての取付もできません。

⚠注意

禁止 **故意に扉を必要以上に倒さない。**
扉に指をはさんだり、倒れた扉が隣接する扉と干渉するおそれがあります。

禁止 **扉のすきまに指を入れない。**
扉に指をはさんだり、思わぬケガをするおそれがあります。



スライドパレット

調理スペースが不足したときに補助スペースとして使えます。
最大積載重量は20kgです。

●使い方

・「カチッ」と音がするまで引き出してください（キャッチがききます）
・戻すときはもう一度手前に引いて（キャッチが解除されます）
　スライドパレットを閉めてください。

●外し方・はめ方

P46調整方法を参照
ください。

⚠注意

禁止	**鋭利なもの、熱いもの、不安定なものは置かない。**	ケガの原因となります。
禁止	**物を置いたまま開閉させない。**	物が落下してケガの原因となります。
禁止	**最大積載重 20kgを超えて物をのせない。**	破損するおそれがあります。
禁止	**ぶら下がったり、寄りかかったりしない。**	破損するおそれがあります。
禁止	**スライドパレット上で包丁を使った作業はしない。**	キズの原因となります。
禁止	**引き出した状態で食器洗い乾燥機を運転しない。（食器洗い乾燥機の上の場合）**	食器洗い乾燥機の蒸気がスライドパレットの裏面に付着しサビやフクレの原因となります。
禁止	**衝撃を与えない。**	キャッチが解除されるおそれがあります。
禁止	**無理に押し戻さない。**	キャッチが破損するおそれがあります。
必ず実行	**キャッチが効いた状態で使用する。**	キャッチがきいていないとスライドパレットが動いてしまい、物が落下してケガの原因となります。

スマートトレー

ごちゃつきがちな小物を重ねず収納でき、揚げ物用の菜箸などの長い調理道具も収納できます。
最大積載重量は2kgです。

スイングポケット

対面キッチンで置き場に困るまな板やフキンをキレイに隠します。最大積載重量は5kgです。
（対面キッチンでもスイングポケットが付かない場合があります。）

付属の専用取扱説明書を必ずお読みください。

インテリアゲート対面収納

①アッパーポケット（調理台上 ： 収納 & アルミ棚）

必要なときに引き下ろせ、上段にはキッチンペーパーやスパイス類、調味料が収納できます。下段は調理中の仮置きスペースに使えます。

最大積載重量：13kg（上：3 kg、下：10 kg）

付属の専用取扱説明書を必ずお読みください。

②アッパーポケット（シンク上：収納＆水切り棚）

必要なときに引き下ろせ、上段には計量カップや保存容器などが収納できます。下段は洗った野菜や調理道具の水切りスペースに使えます。

最大積載重量：13kg（上：3 kg、下：10 kg）

付属の専用取扱説明書を必ずお読みください。

③サイドポケット

見た目を気にするゴム手袋や布巾，洗剤が入れられます。
市販のＳ字フックを使用すればブラシ類も収納できます。
まな板を立てることも可能です（H420mm以下）。
※乾燥機能はありません。必ず水分をふき取ってから収納してください。

お手入れ方法

通常のお手入れは，水を含んだ柔らかい布でふいたあと柔らかい布で空ふきをしてください。

⚠注意

必ず実行
サイドポケットには、ぬれた物は入れず必ず水分をふき取ってから収納する。
乾燥機能はありません。内部に水滴が付いた場合はすみやかにふいてください。

必ず実行
サイドポケットの扉を開ける時、反対側に物がないことを確認する。
物があって扉を開けると、物が倒れるおそれがあります。

必ず実行
不安定な物を入れない。
物が引っかかり、扉の開閉ができなくなります。

注意
扉の開閉時に指を挟まない。
扉の開閉時に指などを挟まないようご注意ください。

スライドバスケット

ボトル調味料などを収納します。

スライドバスケット
間口：15cm

スライド米びつ

計量機能がついています。

スライド米びつ
間口：30cm　容量：10kg

スライド米びつ
間口：15cm　容量：10kg

棚板収納

扉タイプの収納です。

⚠注意

必ず実行
棚板の最大積載重量を守る。
棚板の最大積載重量は 20kg です。これをこえると棚板が変形するおそれがあります。
間口の広い棚板に重量物を多く収納すると、最大積載重量を超えることがあります。

必ず実行
のせすぎたり、重たい物を一ヵ所に集中させない。
棚板が変形するおそれがあります。
重たい物や倒れやすい物はキャビネットの下（棚板の下）に置いてください。

注意
扉の開閉時は足先に注意する。
ぶつけたり指をはさんだりして、ケガをするおそれがあります。

サイドトールキャビネット

ボトル調味料やレードルなどを収納します。

サイドトールキャビネット
間口：15cm

⚠注意

注意
収納物の保存方法に注意する。
キャビネット内は加熱機器の排熱温度により温度が熱くなることがあります。
特に調味料・食品（醤油、みりん、調理酒）などは、温度により風味が落ちる可能性がありますので、容器に記載された方法でご使用・保存してください。

ウォールユニットまわり

ウォールユニットの棚板は、位置を変えられるものと変えられないもの（固定）があります。

⚠注意

必ず実行

棚板の最大積載重量を守る。

棚板の最大積載重量は 20kg です。これをこえると棚板が変形するおそれがあります。
間口の広い棚板に重量物を多く収納すると、最大積載重量を超えることがあります。

必ず実行

のせすぎたり、重たい物を一ヵ所に集中させない。

棚板が変形するおそれがあります。
重たい物や倒れやすい物はキャビネットの下（棚板の下）に置いてください。

フラップ折り戸タイプ（扉タイプ／ライトスルータイプ）

フロアユニットと同じ横長の扉割りデザインのスタイリッシュな吊り戸棚です。

扉タイプ：固定棚板1枚

ライトスルータイプ：固定棚板1枚、可動棚板1枚

・扉はどこでも自由に止まります。

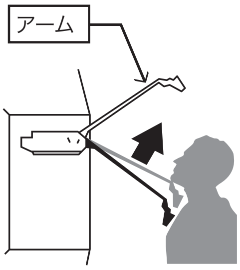
最大積載重量
下段：20kg
上段：20kg

⚠注意

禁止

扉は外さない。

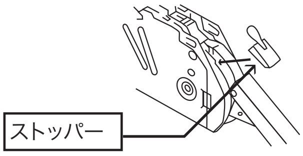
アームがはね上がり、ケガをしたり天井をキズつけることがあります。
万が一扉が外れた場合は、お客様自身で復旧せず**必ず販売店に依頼してください。**



禁止

アームの付け根にあるストッパーは外さない。

ストッパーを外すとアームに指が挟まれ、ケガをすることがあります。



禁止

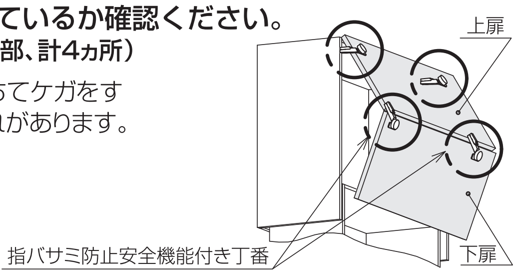
強い力で扉を開けない

アームやストッパーを破損するおそれがあります。

■扉がガタツク場合、指バサミ防止機能が働いた場合

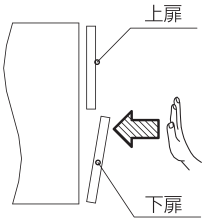
上扉、下扉がガタツク場合は、丁番が確実に固定されているか確認ください。
（右図○部、計4ヵ所）

扉が落ちてケガをするおそれがあります。



安全機能が働くと丁番のリンク部が外れて、下扉が手前にズレてしまいます。

復帰させる時は扉を閉めて下扉の左右丁番部を強く押し込んでください。



ダウンウォールタイプ

手動で昇降する収納です。

付属の専用取扱説明書を必ずお読みください。

最大積載重量　15kg

クイックポケット

出しておきたくない小物を収納できるのでキッチンがすっきり片付きます。
照明付タイプは閉めても開けても手元を照らします。

付属の専用取扱説明書を必ずお読みください。

最大積載重量
下段：4kg
上段：3kg

クイックポケット

オートダウンウォール

電動で昇降するのでサッと使えてすっきり収納します。

付属の専用取扱説明書を必ずお読みください。

最大積載重量　30kg

クイックパレット

必要なときにサッと下ろせば調理スペースが広がります。
調理が終わったら隠してしまえます。

付属の専用取扱説明書を必ずお読みください。

最大積載重量
下段：10kg
上段：10kg

クイックパレット

開き扉

スタンダードな扉タイプの吊戸棚です。

最大積載重量　60kg
（棚板1枚　20kgまで）

照明付吊戸

調理面の手元を照らす照明付収納です。

付属の専用取扱説明書を必ずお読みください。

最大積載重量　60kg
（棚板1枚　20kgまで）

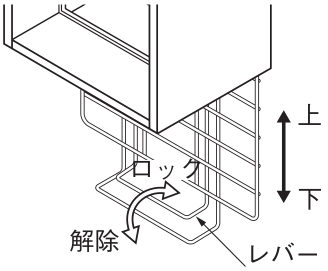
照明

昇降式吊戸棚

吊戸棚の奥で昇降します。必要なときに出して、不要な時はすっきり片付きます。

使い方

レバーを握り込むと、ロックが解除され上下動が可能になります。レバーの握りをゆるめると、その位置で昇降バスケットがロックされます。

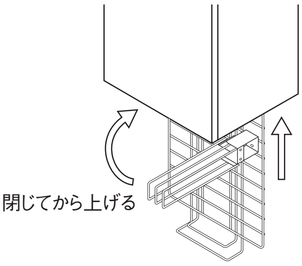


⚠注意

禁止

ふきんかけを開いた状態で昇降させない。

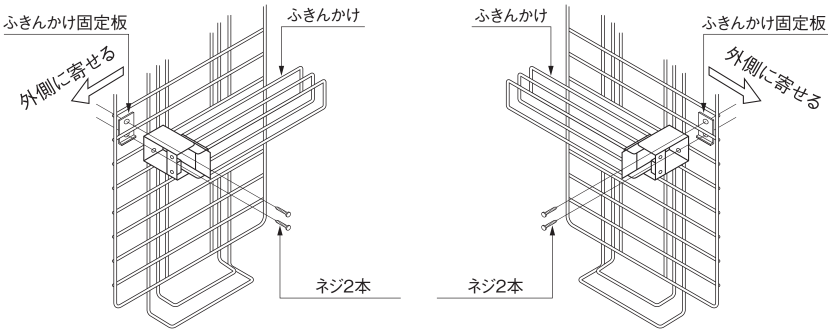
ふきんかけが壊れたり、キャビネットをキズつけるおそれがあります。



必ず実行

取付けは外側寄りに取付ける

ふきんかけを取付けの際、外側寄りに取付けてください。内側に寄せて取付けると昇降の際キャビネットにぶつかり、ふきんかけが壊れたり、キャビネットをキズつけるおそれがあります。



収納ユニット

スライディングドアストッカー

大きな一枚の扉なのでクローゼットのような収納です。

	名称	最大積載重量	用途	注意事項
ミドル上部	棚板 仕切板	20kg/ 1枚	使用頻度の低い調理器具 食器ストック（箱入り） 季節物（重箱、おとそセット）	重たいものを一カ所に集中させないで平均してのせてください。
ミドル上部	ダウンウォール	付属の専用取扱説明書を必ずお読みください。		
ミドル下部	棚板	20kg/ 1枚	一般的な収納棚として使用してください。	重たいものを一カ所に集中させないで平均してのせてください。
ミドル下部	引出し	20kg/ 1杯	＜浅い引出し＞ お箸、スプーン、フォークなどの収納。 ＜深い引出し＞ 背の高いもの、大きいものなどの収納。	平皿などを積み重ねたり、重たいものを詰め込むことは避けてください。
フロア	引出し	20kg/ 1杯	重量物（缶詰め、調味料など）の収納。	

※最大積載重量を守り、重たいものを入れすぎないでください。

2 ウェイクローゼット（アクセスウィンドウ）

上から下まで見渡せる大型スライド扉。
使いやすい中段部分だけ開けて使える収納です。

	名称	最大積載重量	用途	注意事項
ミドル上部	棚板 仕切板	20kg/ 1枚	使用頻度の低い調理器具 食器ストック（箱入り） 季節物（重箱、おとそセット）	重たいものを一カ所に集中させないで平均してのせてください。
ミドル上部	ダウンウォール	付属の専用取扱説明書を必ずお読みください。		
ミドル下部	棚板	20kg/ 1枚	一般的な収納棚として使用してください。	重たいものを一カ所に集中させないで平均してのせてください。
ミドル下部	引出し	20kg/ 1杯	＜浅い引出し＞ お箸、スプーン、フォークなどの収納。 ＜深い引出し＞ 背の高いもの、大きいものなどの収納。	平皿などを積み重ねたり、重たいものを詰め込むことは避けてください。
フロア	引出し （底板）	20kg/ 1杯（枚）	重量物（缶詰め、調味料など）の収納。	

※最大積載重量を守り、重たいものを入れすぎないでください。

⚠注意

禁止
強い力で大型スライド扉を開けない。
アームやストッパーを破損するおそれがあります。

必ず実行
大型スライド扉を開ける時、反対側に物がないことを確認する。
物があって扉を開けると、物が倒れるおそれがあります。

禁止
扉（アクセスウィンドウ）にぶら下がったり、寄りかかったりしない。
破損するおそれがあります。

注意
扉の開閉時に指を挟まない。
扉の開閉時に指などを挟まないようご注意ください。
特にお子さまにはご注意ください。

ジョイントストッカー

奥行き45cm系ユニットと奥行き65cm系ユニットを段差なくつなぐ食品庫です。

	名称	最大積載重量	用途	注意事項
上置き	棚板	20kg/1枚	使用頻度の低い調味料、食品	重たいものを一ヵ所に集中させないで平均してのせてください。
ミドル上部	棚板 仕切板	20kg/1枚	比較的大きく軽い食品、調味料 （乾物、コーンフレーク、インスタントラーメン、カップめん、お菓子など）	
ミドル下部	引出し	20kg/1枚	ビン、缶など （小さなスパイスボトル、ジャム、ビン詰、缶詰など）	
扉	ラック	1kg/1個	軽いもの、使いかけのもの 袋入調味料（だしの素、ふりかけなど） 箱入調味料（カレールー、レトルト調味料など） 乾物など	最大積載重量を守り、重たいものを入れすぎないでください。扉が外れたり、開閉に支障をきたすおそれがあります。

※最大積載重量を守り、重たいものを入れすぎないでください。

⚠ **注意　扉の開閉時は足先に注意する。**

コーナーストッカー

キッチンと収納をL字にきれいにつなぐ収納です。

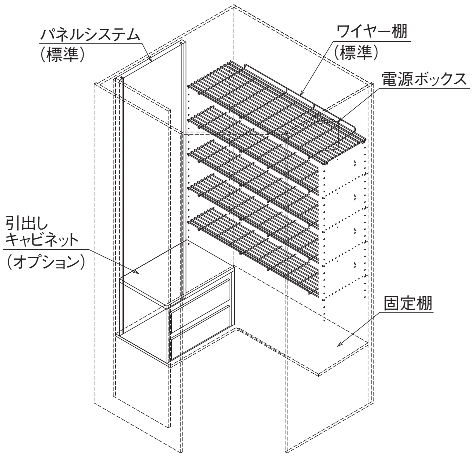
	名称	最大積載重量	用途	注意事項
上置き	棚板 底板	20kg/1枚	使用頻度の低い調理器具 食器ストック（箱入り） 季節物（重箱、おとそセット）	重たいものを一カ所に集中させないで平均してのせてください。
ミドル	棚板 底板	20kg/1枚	一般的な収納棚として使用してください。 （皿、茶碗、グラス、カップなど）	
フロア	棚板 底板	20kg/1枚	乾物類などの収納。 重量物（缶詰め、調味料等）の収納。 （棚板が浅いため、手前に一升瓶なども収納できます）	
扉	カトラリーボックス	1kg/1個	カトラリー類の収納。 （カトラリーボックスは取り外せるので持ち運びできます）	最大積載重量を守り、重たいものを入れすぎないでください。扉が外れたり、開閉に支障をきたすおそれがあります。
	ワイヤーラック	2kg/1個	細々とした乾物類、缶詰などの収納。	

※最大積載重量を守り、重たいものを入れすぎないでください。

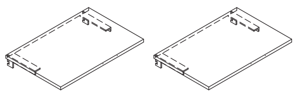
⚠ **注意　扉の開閉時は足先に注意する。**

コーナークローゼット（ウォークインタイプ）

使いにくいコーナー部を全て収納スペースに変えたウォークインタイプのコーナークローゼット。キッチンや周辺収納キャビネットと並べて全体のレイアウトを美しく収めます。
扉を開けると自動的に照明が点灯し、開けた扉は片側の壁に収納されるので邪魔になりません。食品ストックはもちろん、季節物の食器や調理器具などさまざまな収納スペースに使えます。

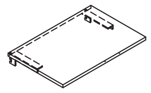


付属品

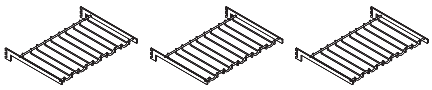


木製棚板２枚

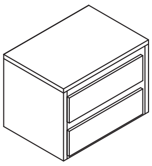
オプション品



木製棚板１枚



ボトルラック３枚

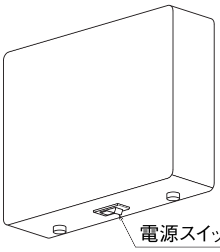


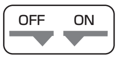
引出しキャビネット

名称	最大積載重量	用途	注意事項
固定棚 （引出しキャビネット設置時）	40kg/1枚 （25kg/1枚）	一般的な収納として使用してください。	最大積載重量を守り、重たい物を一カ所に集中させないで平均してのせてください。
木製棚板	5kg/1枚	一般的な収納として使用してください。	
ボトルラック	3本/1段 <5本/1段>	ワインボトル、調味料、食品ストック用にもさまざまな収納に使用できます。 <キャビネットのサイズにより異なります。5本/1段は105×105タイプです>	
引出しキャビネット	5kg/1段	散乱しがちな小物の収納に使用してください。	
ワイヤー棚	20kg/1段	食品ストック、調味料、食器などさまざまな収納に使用できます。	

コーナークローゼットの照明は、電源ボックスのスイッチをＯＮにすると扉を開けたとき点灯し、扉を閉めると消えます。
照明を点灯させない時は、スイッチを OFF にしてください。

電源ボックス





OFF
扉を開けると
照明が点灯します。

ON
照明は消えた
ままです。

⚠注意

固定棚の上に乗ったり、座ったりしない。（必ず実行）
破損して、ケガをするおそれがあります。

ダウンライトの直下に物を置くときは、10cm以上離す。（必ず実行）
ダウンライトの熱による損傷、火災などの原因になります。

ワイヤー棚を移動設置するときは、棚受をすき間のないよう根本まで確実に差し込む。（必ず実行）
ワイヤ棚がはずれて収納物が落下してケガをするおそれがあります。

蒸気排出ユニット付収納（家電収納フロアキャビネット・家電タワー・家電収納・コーナー家電収納）

家電収納には、蒸気排出ユニット付き家電収納と蒸気排出ユニット無し家電収納があります。
蒸気排出ユニット無し家電収納についてはP38 C をお読みください。

★蒸気排出ユニット

蒸気排出ユニットは家電製品（炊飯器・ポット・コーヒーメーカー）から出る蒸気を収納庫外へ排出するユニットです。

- 家電製品の電流を検知して自動で運転を開始します。手動運転も可能です。
- スイング扉付タイプのユニットには、収納庫内が高温になると収納庫コンセントへの通電を遮断する安全機能（通電遮断機能）が付いています。

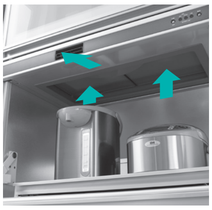
※スイング扉なしタイプは通電を遮断する機能は付いていません。

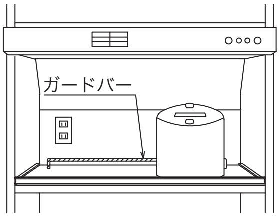
付属の専用取扱説明書を必ずお読みください。

■収納可能な家電製品

・電気炊飯器　・電気ポット　・コーヒーメーカー
（その他の家電製品は使用できません）

※スイング扉付タイプは扉を閉じたまま使用することができます。





- 蒸気を正常に収納庫外へ排出するために炊飯器・電気ポットなどの蒸気穴の位置を蒸気回収口の真下にくるように合わせてください。
- この時、家電製品がトレーボードからはみ出さないように設置してください。

※1升炊き炊飯器など奥行きが大きいものは、背面のガードバーを外して収納することができます。
※この場合も蒸気穴の位置を蒸気回収口の真下にくるように合わせてください。

⚠注意

禁止　**ガス炊飯器は設置しない。**
火災の原因となります。電気炊飯器、電気ポット、コーヒーメーカー以外は使用できません。

禁止　**コンセント使用時は表示電力を超えない。**
発熱により火災の原因となります。

必ず実行　**蒸気穴の位置を蒸気回収口に合わせる。**
結露するおそれがあります。結露したらすぐに布などでふき取ってください。

家電収納タイプはタイプによって使い方や注意事項が異なります。

下の写真を参考にお客さまのユニットを確認の上、それぞれの写真の下にある記号（A・A1 など）に対応する項目の内容をよく読んで、正しくお使いください。

家電タワー
スイング扉付

P36 A P37 A1・A2
をご参照ください。

家電タワー
（扉なし）

P36 B・B1・B2
をご参照ください。

家電収納
スイング扉付

P36 A P37 A2
をご参照ください。

家電収納
（扉なし）

P38 B・B2
をご参照ください。

家電収納一体
（扉なし）

P38 B・B2
をご参照ください。

コーナー家電収納

P38 B・B2
をご参照ください。

家電収納
フロアキャビネット

P38 B・B2
をご参照ください。

A 家電タワー（スイング扉付）・家電収納（スイング扉付）

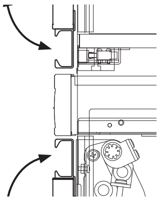
家電製品を扉を閉めて隠せます。

■扉の開閉

スイング扉の手掛けは、上下両方に指が掛けられるようになっています。

<扉の開け方>

手掛けに指を掛けてやや手前に引き、上段は上へ中段は下へ動かします。



⚠注意　**扉の開閉時は指はさみに注意する。**
扉の開閉にともなってアームが動き、指をはさむおそれがあります。特に小さなお子さまがいるご家庭ではご注意ください。

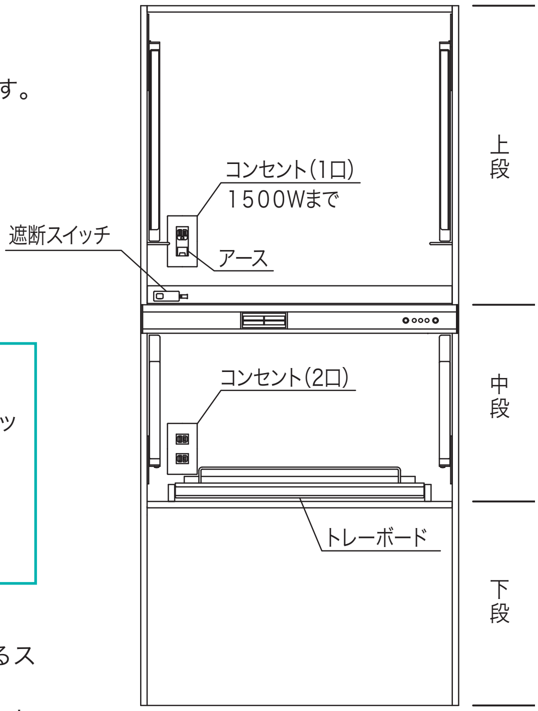
A1 家電タワー＜上段＞（スイング扉付）

扉を閉めて家電製品を隠せます。
扉を開けると家電製品をキャビネットに置いたまま運転することができます。
コンセントは1500Wまでです。

■収納可能な家電製品

・オーブンレンジ
・電子レンジ
・スチームオーブンレンジ

ガスオーブンは使用できません。



■家電製品設置時の注意

必ず実行
家電製品設置の際は、離隔距離を守る。
離隔距離が取れていないとキャビネット壁面が高温になりキャビネットをいためる原因となります。
・ガードバーを外さないでください。
・各家電製品の取扱説明書の指示に従ってください。
・離隔距離範囲内にものを置かないでください。

■家電製品運転中の注意

・安全に配慮して、家電製品を運転中に扉を閉めると、電気を遮断するスイッチが押されて運転が停止します。
・停止させてしまった場合は扉を開けて再運転してください。再運転のし方については各家電製品の取扱説明書をお読みください。

⚠注意

禁止
家電製品の加熱運転中に扉を閉めない。
扉を閉めたまま運転すると高温になり危険です。扉を半開の状態で使用すると結露するおそれがあります。全開の状態でお使いください。

禁止
コンセント使用時は表示電力（1500W）を超えない。
発熱により火災の原因となります。

禁止
家電タワー上置きに熱の影響を受けるものは収納しない。
家電製品を運転すると、上置き内は高温になることあります。

禁止
家電製品の加熱運転中に遮断スイッチを押さない。
電気が遮断されて、運転が停止します。タイマーをご使用の際は特にご注意ください。

必ず実行
アースを接続する。
アースを接続しないと万が一漏電した場合に感電したり火災をおこす危険があります。

必ず実行
家電製品が冷めてから扉を閉める。
家電製品が熱いうちに扉を閉めると熱がこもってキャビネットが高温になり、キャビネットをいためるおそれがあります。

必ず実行
収納庫内の水滴をふき取る。
水滴が付着した状態で放置すると漏電のおそれやサビの原因となります。

A2 家電タワー＜中段＞（スイング扉付）・家電収納（スイング扉付）

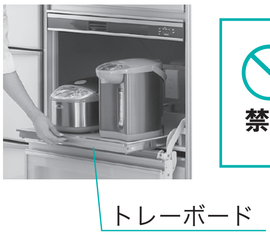
扉を閉めたまま家電製品を運転できます。

安全機能付きの蒸気排出ユニットが付いています。
P36★もお読みください。

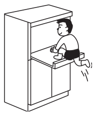
準備したり盛りつけするときは、スライド式のトレーボードを引き出します。

■収納可能な家電製品

・電気炊飯器
・電気ポット
・コーヒーメーカー
（その他の家電製品は使用できません）



禁止
腰を掛けたり、ぶらさがったりしない。



B 家電タワー（スイング扉なし）・家電収納（スイング扉なし）・家電収納一体（スイング扉なし）・家電収納フロアキャビネット

家電製品をまとめて収納できます。

B1 家電タワー<上段>（スイング扉なし）

コンセントは1500Wまでです。

■収納可能な家電製品

・オーブンレンジ　・電子レンジ　・スチームオーブンレンジ

ガスオーブンは使用できません。

必ず実行　**家電製品設置の際は、離隔距離を守る。**

離隔距離が取れていないとキャビネット壁面が高温になりキャビネットをいためる原因となります。
- ガードバーを外さないでください。
- 各家電製品の取扱説明書の指示に従ってください。
- 離隔距離範囲内にものを置かないでください。

⚠注意

禁止　**コンセント使用時は表示電力（1500W）を超えない。**

発熱により火災の原因となります。

禁止　**家電タワー上置きに熱の影響を受けるものは収納しない。**

家電製品を運転すると、上置き内は高温になることあります。

必ず実行　**アースを接続する。**

アースを接続しないと万が一漏電した場合に感電したり火災をおこす危険があります。

必ず実行　**収納庫内の水滴をふき取る。**

水滴が付着した状態で放置すると漏電のおそれやサビの原因となります。

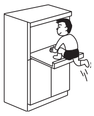
B2 家電タワー<中段>（スイング扉なし）・家電収納（スイング扉なし）・家電収納一体（スイング扉なし）・家電収納フロアキャビネット

準備したり盛りつけするときは、スライド式のトレーボードを引き出します。

トレーボード

蒸気排出ユニットが付いています。
P36 ★ もお読みください。

禁止　**腰を掛けたり、ぶらさがったりしない。**



C 蒸気排出ユニット無し家電収納

準備したり盛りつけするときは、スライド式のトレーボードを引き出します。

⚠注意

禁止　**ガス炊飯器は設置しない。**

火災の原因となります。
電気炊飯器、電気ポット、コーヒーメーカー以外は使用できません。

禁止　**コンセント使用時は表示電力を超えない。**

発熱により火災の原因になります。

必ず実行　**家電品を使用する時は、必ずスライド式のトレーボードを引き出してご使用ください。**

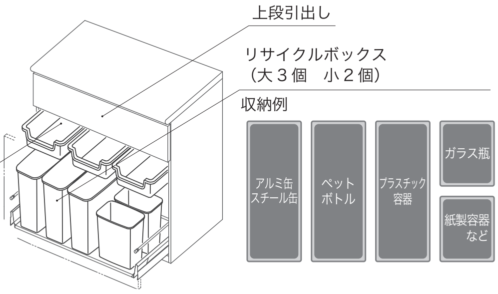
収納庫内に蒸気がこもったご使用をされた場合、キャビネットの変形、またはコンセントのショートにより火災のおそれがあります。

リサイクル収納

ご家庭の資源ゴミ量に合わせて使い分けられます。

最大積載重量

上段引出し		20 Kg
リサイクルトレー	各	5 Kg
リサイクルボックス	合計	10 Kg



注意　**●リサイクル品はよく洗う。**

においの原因になります。

注意　**●飛び出さないように収める。**

リサイクルボックスから飛び出すと開閉の妨げになったり、リサイクルボックスが転倒するおそれがあります。

センターキッチン

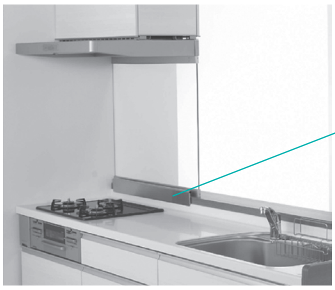
対面キッチンユニット

シンプルタイプ

ハイカウンタータイプ

ローカウンタータイプ

シンプルタイプ用
油はねガード



ハイカウンター・
ローカウンター用
油はねガード

リビング収納タイプ

オープン棚タイプ

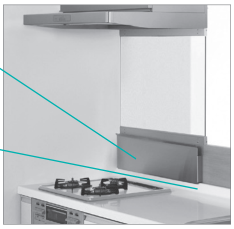
開き扉タイプ

サイドデスク付タイプ

構造壁対応タイプ

油はねガード

コンセント(2口)



キッチン側　手元収納あり

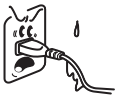
キッチン側　手元収納なし

※手元収納ありの場合､リビング側のオープン棚の上段部分は奥行が変わります。

注意

禁止

コンセントに水をかけない。
感電、漏電やショートしたり火災のおそれがあります。また、アース接続の必要な電気製品は接続しないでください。



禁止

サイドデスクの上に乗ったり､座ったりしない。
破損して、ケガをするおそれがあります。

必ず実行

棚板の最大積載量を守る。
棚板の最大積載量は20kgです。これをこえると棚板が変形するおそれがあります。間口の広い棚板に重量物を多く収納すると、最大積載量を超えることがあります。

必ず実行

のせすぎたり､重たいものを一ヵ所に集中させない。
棚板が変形するおそれがあります。重たい物や倒れやすい物はキャビネットの下(棚板の下)に置いてください。

必ず実行

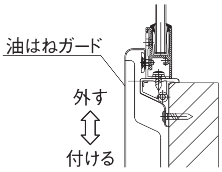
手元収納内がぬれたらすぐふき取る。
長時間ぬれたまま放置すると水もれするおそれがあります。

油はねガード

コンロの後ろには、油はねガードが付き、カウンター部への油等の付着を防ぎます。
油はねガードは簡単に外せるので、お手入れができます。

外し方・取付け方

油はねガードは持ち上げると外せます。
取り付ける時は上から引っかけるように付けます。



⚠注意

禁止 **加熱機器使用直後は、油はねガードを外す時にヤケドをするおそれがあります。**

禁止 **金属タワシ等の使用禁止**
ナイロンタワシ・メラミンスポンジ・金属タワシ・粉末クレンザー・研磨粒子入り液体洗剤を使用しないでください。目には見えない細かいキズをつけます。

禁止 **酸性薬品の使用禁止**
硫酸・塩酸などの酸性薬品類は絶対に使用しないでください。サビや変色のおそれがあります。

ＩＨ用空気清浄システム

カウンターに取り付けられたコンパクトなフードで、煙を取り込み、内蔵したユニットで汚れやニオイを循環清浄します。

付属の専用取扱説明書を必ずお読みください。

※IH用空気清浄システムを長くお使いいただくには定期的なメンテナンスが必要です。

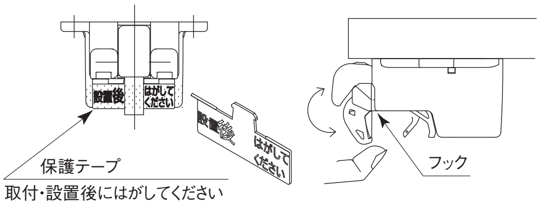
扉キャッチ・引出しキャッチ

扉キャッチ付キャビネット・引出しキャッチ機構付キャビネット

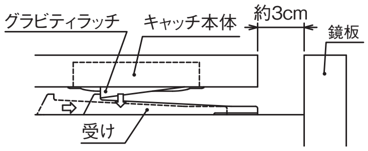
扉キャッチ及び引出しキャッチは、地震が発生してキャッチ本体が揺れを感知すると、フック（グラビティラッチ）が下がった（出た）状態で固定され、キャビネット内部の収納物の落下や引出しの突び出しを防止します。

●通常の使用（扉・引出しの開閉）においては扉キャッチ・引出しキャッチは作動せずロックはかかりません。
●ロックした場合は、扉を一旦閉め、揺れがおさまってから開いて（引き出して）ください。揺れがおさまるとロックは解除されます。
●扉の開閉は、力を入れずやさしく行ってください。
●扉キャッチ、引出しキャッチ機能は、建物の構造や階数によって、性能を充分に発揮しない場合があります。

扉キャッチ



引出しキャッチ



上から見た図

⚠注意

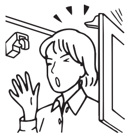
取外したり分解しない。
禁止
取外したりすると、正常に作動しなくなるおそれがあります。

不安定に積重ねたり詰め込みすぎたりしない。
禁止
微妙な揺れで倒れることがあります。

手前に小物を収納しない。
禁止
扉はロックが掛かっても約1.5cm程開きますので、落下するおそれがあります。

ぬれたらすぐにふき取る。
必ず実行
扉キャッチ本体に汚れや水滴がついた場合は、乾いた布でふき取ってください。

頭をぶつけない。
注意
思いがけないケガをするおそれがあります。



サンウォーレ

サンウォーレタイルパネル

⚠注意

パネルに過度な衝撃を与えないでください。
禁止
※特に硬いものをぶつけるとパネルが破損するおそれがあります。

加熱機器使用時には、パネルに直接高温の水蒸気が当たらないようにしてください。
禁止
※パネル内の目地部分が変色するおそれがあります。

このパネルはワレモノです。直接、ビスや釘等を打ち込まないでください。
禁止
※パネルが破損してケガをするおそれがあります。
※ビスや釘等を取付ける場合は、タイル用ドリル刃にて下穴をあけてから行ってください。

パネルに直接炎を当てないでください。
禁止
※パネル内の目地部分が焦げる、あるいは変色するおそれがあります。

パネルをシンナー等の溶剤を使って清掃しないでください。
禁止
※パネル内の目地部分が変質・変色するおそれがあります。

パネルを清掃する際は、金属製の清掃用具(たわし、ブラシ)や、研磨剤入りのスポンジを使用しないでください。
禁止
※パネル表面にキズがつくおそれがあります。また、清掃用具の破片(金属粉や研磨剤)が付着して汚れの原因となります。

パネルに汚れや洗剤が付着した場合は、速やかに拭き取ってください。
必ず実行
※汚れや洗剤の種類によっては清掃後も汚れが残る場合があります。またパネル部分とシーリング部分では、汚れ方が異なる場合があります。

オプション

引出し用仕切パーツ

収納物を仕切るのに使います。　※らくパッと収納引出しには使用できません。

■各部の名称

ギャラリバー

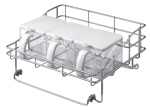
ギャラリバーの位置を調整する際にはドライバーが必要となります。

ブロックディバイダー

テンションディバイダーM

テンションディバイダーL

調味料ラック



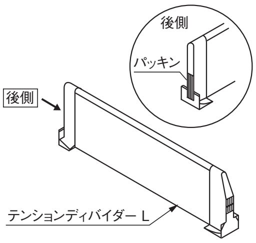
使い方

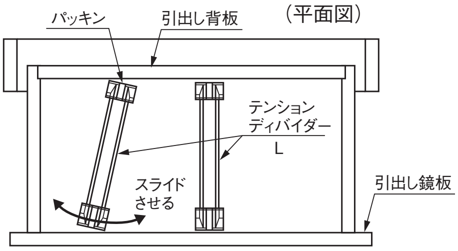
仕切パーツを使うと、収納物の大きさに合わせた仕切り方ができ、収納を上手におこなえます。
それぞれのパーツは着脱することができます。お好みの位置に付け替えてご使用ください。

・ブロックディバイダーはギャラリバーまたは引出し側面のサイドギャラリに固定して使用します。
・キッチン下段引出し（足元）はテンションディバイダーを使用します。
　ただし、引出し側面にサイドギャラリがある場合はブロックディバイダーを固定することもできます。
・調味料ラックを使用する場合は必ずギャラリバーが必要です。
　ギャラリバーを引出しの背板と平行に取り付けて、ギャラリバーと背板上部に載せます。

【テンションディバイダーＬの取付け方について】

・テンションディバイダーＬの後側（パッキン）を引出し背板に押し当てて、ディバイダーの手前側を横にスライドさせて取付けます。
・取外しは、逆の手順でおこなってください。（後側を無理にスライドさせると、パッキンが外れるおそれがあります。）



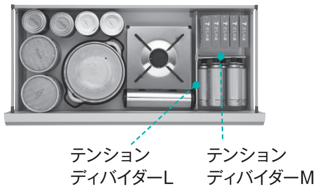


■使用例（中段・下段）

コンロまわりの収納

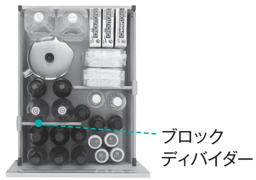
▌中段引出し

▌下段引出し

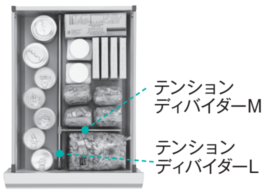


調理スペース下の収納

▌中段引出し

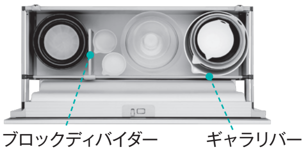


▌下段引出し

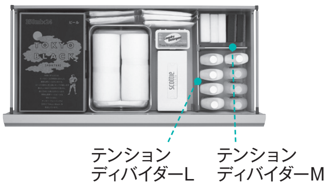


シンク下の収納

▌中段引出し



▌下段引出し



⚠注意

禁止 **引出しの仕切以外に使用しない。**
思わぬ事故を起こすおそれがあります。

禁止 **無理に着脱しない。**
ディバイダーや引出しを破損するおそれがあります。

必ず実行 **しっかり固定する。**
所定の方法で固定してください。収納物が不安定に動いたり、引出しの開閉の際に引っかかることがあります。

ハンディーボックス

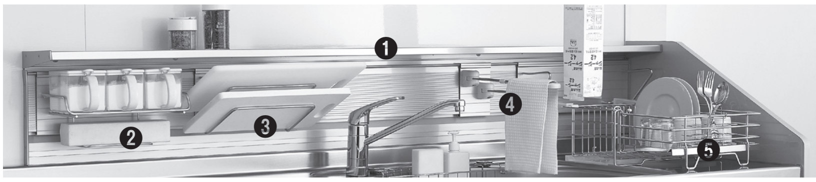
すぐ手が届く位置によく使う調味料や小物を整理できます。

専用の取扱説明書を必ずお読みください。

ハンディーゾーン収納

使いやすい位置に必要な収納パーツを組み合わせて使用できます。

専用の取扱説明書を必ずお読みください。



サポートカウンター

❶壁付けタイプ（アルミ製）
壁面に取り付けるカウンター。調理中の仮置きスペースとして使えます。
間口:210･180･165･150cm
奥行:15cm

サポートラック

❷調味料ラック
調味料ケースとラップホルダー付きの調味料ラック。
間口:32cm

❸まな板ラック
仮置き＋乾燥に、2段式のまな板ラック。
間口:25cm

❹ふきんハンガー
クリップを立てて牛乳パックの乾燥にも使えるふきんハンガー。
間口:10cm

❺伸縮水切りカゴ
水切りカゴはたたんで収納。使う時だけ引き出せます。
間口:40cm

その他オプション

ダストワゴン
（オープンキャビネット用）
オープンキャビネットにぴったり収まるワゴン付きのダストボックスです。

ライストレー
（ダブルストッカー中段用）
出し入れしやすいローラー付きの保存ケースです。
間口:21cm 容量:10kg

ライストレー
（ダブルストッカー下段用）
ダブルストッカーの下段にすっきり収まるサイズです。
間口:22.6cm 容量:5kg

ライスボックス
（開き扉用）
必要な量だけ取り出せる計量機能付きです。
間口:19cm 容量:12kg

コンロ前用ガラス（全面タイプ／ハーフタイプ）

センターキッチンで気になるダイニング側への油はねを防ぎます。

・全面タイプ
ワークトップ上面からレンジフード下まで全面をおおいます。
ダイニング側への油はねを防ぎます。

・ハーフタイプ：
ワークトップ上面から約30cmの高さまでをおおいます。
全面をおおうものではないので、近くの窓･ドア･エアコンや人の移動などによる室内の空気の流れの影響を受けて捕煙効率が落ちることがあります。

付属の専用取扱説明書を必ずお読みください。

⚠注意

禁止 **コンロ前用ガラスの防熱カバーを外さない。**
コンロ前用ガラスの表裏が高温になるおそれがあります。
お手入れで取外す以外は必ず設置してください。

シンク前スクリーン（LED 照明付／なし）

コンロ前用ガラスハーフタイプと同じデザインでセンターキッチンで気になる手元を隠します。
さらに、LED照明付は手元を明るく照らします。

付属の専用取扱説明書を必ずお読みください。

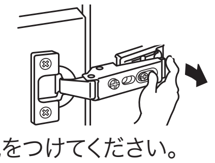
長くお使いいただくために・調整方法

扉の調整・取外し方

フロア、ウォールユニット、ジョイントストッカー

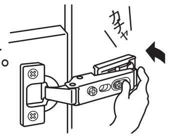
■扉の取外し方

丁番の尾の部分（矢印部）を下から押し上げると簡単に外れます。
※取外す際は扉をしっかり支えながら行い、扉やキャビネットをキズつけないように気をつけてください。



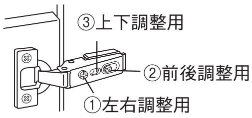
■扉の取付け方

丁番内側のピンをピン受け部に確実にかみ合わせ、上からカチャと音がするまで押して固定します。
※ピンがピン受け部にしっかりかみ合っていないと、扉が脱落しますので、気をつけてください。



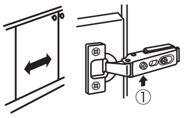
■丁番の調整方法

扉は左右や前後のズレがないように取付けています。お客さまに調整していただく必要はありませんが、お使いになっていて扉がガタついたり微調整が必要な時は丁番の①②③のネジで行ってください。



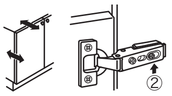
●左右の調整方法

①のネジを右にまわすと丁番側に移動し、左にまわすと丁番と反対側に移動します。



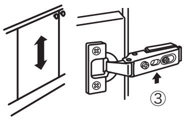
●前後の調整方法

前後の傾きは②のネジで調整できます。



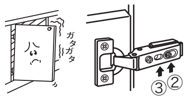
●上下の調整方法

上下に扉が片寄っている場合は③のネジをゆるめて座金の位置を調整します。
（上下2本の丁番を調節してください）



●扉にガタツキが発生した場合

②・③のネジを右側に回して固く締めつけます。



■調整後の確認

必ず実行

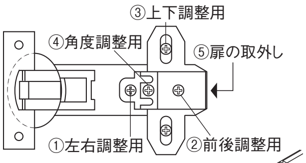
扉調整後は、全ての丁番の②と③のネジが締め付けられていることを確認してください。

●扉キャッチ機構付ウォールキャビネットの扉調整の場合は、 扉キャッチの動作を確認しながら行ってください。

扉を閉めた時、扉裏面のフック受けが扉キャッチ本体のフックにかかる位置か確認してください。

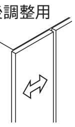
コーナーストッカー

●扉の調整をする場合は、①・②・③・④のネジで行えます。



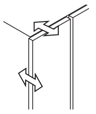
■左右の調整方法

①のネジを右に回すと丁番側に移動し、左に回すと丁番の反対側に移動します。



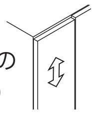
■前後の調整方法

前後の開きは②のネジで調整できます。



■上下の調整方法

上下に扉が片寄っている場合は、③のネジを緩めて座金の位置を調整します。（上下2本の丁番を調整してください）

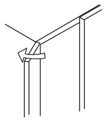


■扉の取外し方

ワンタッチ丁番の尾の⑤部分（矢印部）を押すと簡単に外れます。取外す際は、扉をしっかり支えながら行い、扉やキャビネットをキズ付けないよう気をつけてください。

■開き角度の制限

扉の開き角度を制限したい場合は④のネジを回して丁番の開き角度を調整してください。

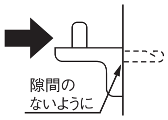


■調整後の確認

扉調整後は、すべての丁番の③のネジが締め付けられていることを確認してください。

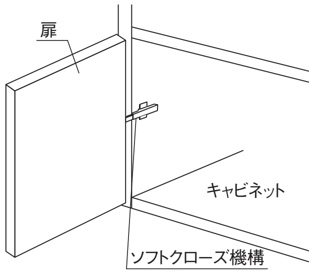
■棚板のセット

棚受けは隙間のないように奥まで差込み、棚板を確実にのせてください。



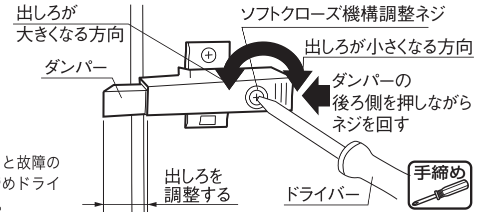
ソフトクローズ機構

扉が閉まるときに“バタン”という音がしないことを確認してください。
音がする場合は調整方法を参照し、ソフトクローズ機構を調整してください。



■扉の閉まる速度が速すぎる（バタンと音がする）時
ソフトクローズ機構調整ネジをドライバーで反時計回りに回して、ダンパーの出しろを大きくしてください。

■扉の閉まる速度が遅すぎる（または閉まりきらない）時
ソフトクローズ機構調整ネジをドライバーで時計回りに回して、ダンパーの出しろを小さくしてください。



※調整ネジを回しすぎると故障の原因となりますので手締めドライバーで調整してください。

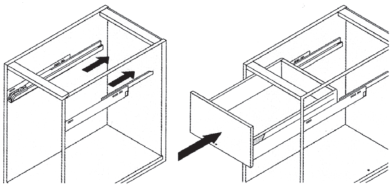
フラップ折り戸・スライド扉・家電収納扉の調整

調整が必要な場合は、「修理受付センター」までご連絡ください。

スチール製引出し（グレー）タイプの調整方法

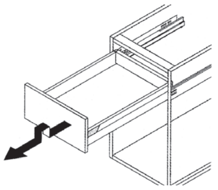
■引出しの取付け方

引出しをレールにのせ、そのままキャビネットの中へ押込みます。“カチャ”という音で正しく入ったか確認できます。



■引出しの取外し方

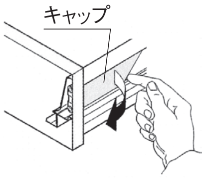
引出を全開にし、いちど少し上に持ち上げてから引いてください。



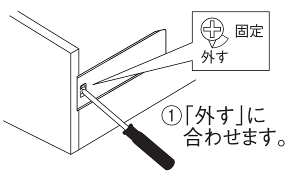
■キャップの着脱方法

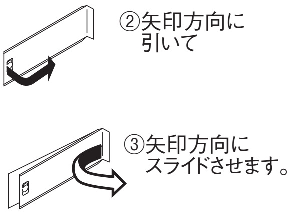
キャップを指で引っ掛けて取外します。

引出しキャッチ機構がない場合



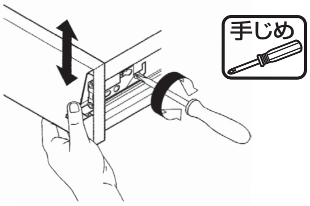
引出しキャッチ機構がある場合





③上下の調整方法

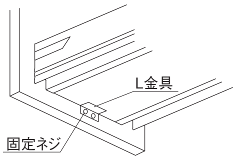
図のネジで上下調整をしてください。



■鏡板の左右・上下・あおり調整

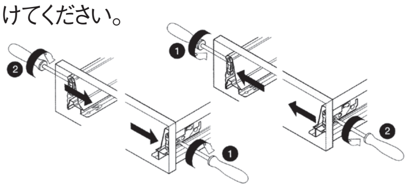
①L金具の着脱方法（間口60cm以上の場合）

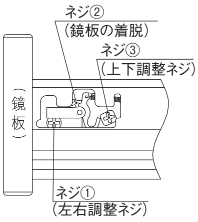
間口60cm以上の引出しは調整する前にL金具の固定ネジをゆるめてください。調整後、しめつけてください。

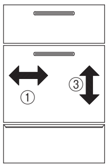


②左右の調整方法

図のネジで左右調整をしてください。



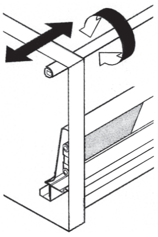




引出し側面調整部

④前板の傾きの調整方法

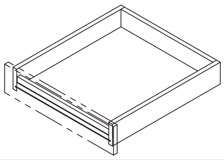
サイドギャラリーを回して調整します。



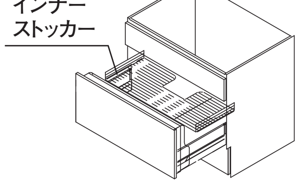
木製引出し、インナーストッカー、W30米びつの調整・取外し方

■引出しの種類

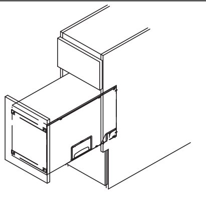
木製引出し（白色パーチクルボード製）



インナーストッカー（シンクキャビネット内）

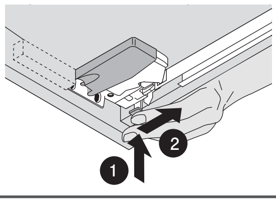


W30米びつ



■W30米びつ鏡板の上下調整方法

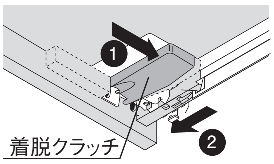
❶を押しながら❷の方向へ移動させると高くなる方向に調整できます。



■引出しの取外し方

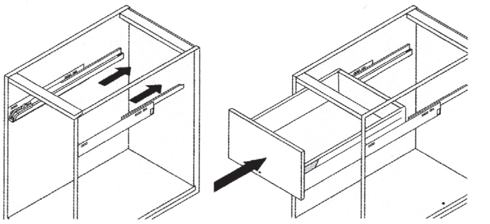
①着脱クラッチのレバーをにぎります。

②引出しを手前に引きながら外します。



■引出しの取付け方

引出しをレールにのせ、そのままキャビネットの中へ押込みます。“カチャ”という音で正しく入ったか確認できます。



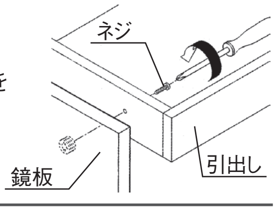
インナーストッカーを外す場合、その下の引出しを先に外します。

■鏡板の左右・上下調整方法（木製引出しのみ）

①鏡板と引出しを固定しているネジを緩めます。

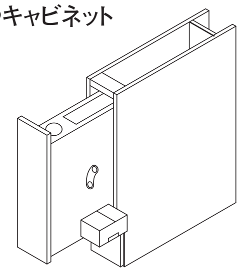
②左右、上下調整を行います。

③調整後、ネジを締め直します。

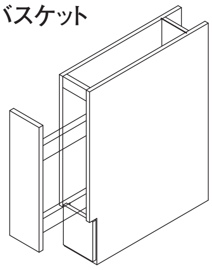


W15米びつキャビネット・W15スライドバスケットの調整・取外し方

米びつキャビネット

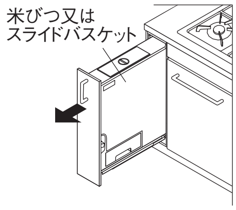


スライドバスケット

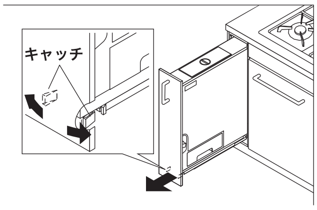


■取外し方

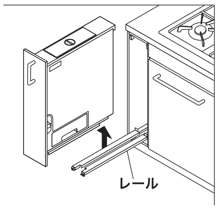
①いっぱいまで引き出します。



②キャッチを外側に引いたまま
さらに引き出します。

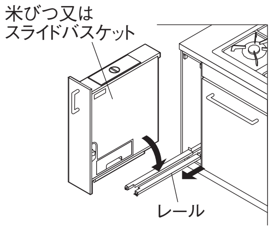


③本体をまっすぐ持ち上げてください。

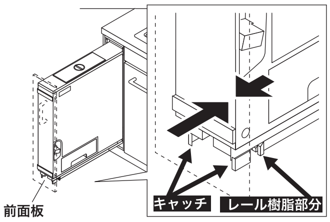


■取付け方

①レールを引き出して、米びつ又は
スライドバスケットをのせます。



②レールの樹脂部分（矢印
部）と前面板を、キャッチが
左右ともにカチッと音がす
るまで引き寄せます。



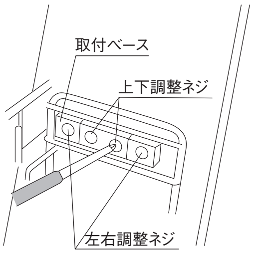
■鏡板の左右･上下調整方法（スライドバスケット）

●調整方法

①スライドバスケットは調整ネジを
緩め鏡板を調整します。
②調整後ネジを締めます。

●外し方

左右調整ネジを外すと鏡板を外す
ことができます。



注意 米びつ及びスライドバスケットを着脱するときは、指などを挟まないように注意してください。

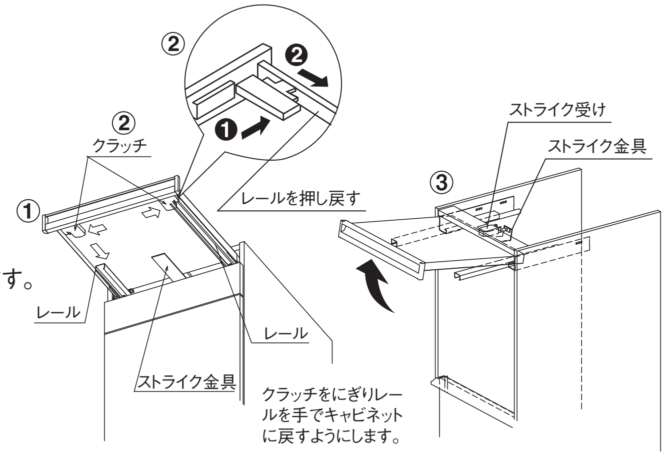
スライドパレットの調整・取外し方

■外し方

①スライドパレットを引き出してカチッ!という手前で止めます。
②着脱クラッチを押しながらレールをキャビネットの中へ押し
戻します。
③スライドパレットの前端を持ち上げながら取り出します。

■上下調整方法

「W30米びつ鏡板の上下調整方法」（P45）と同じ要領で調整します。



注意

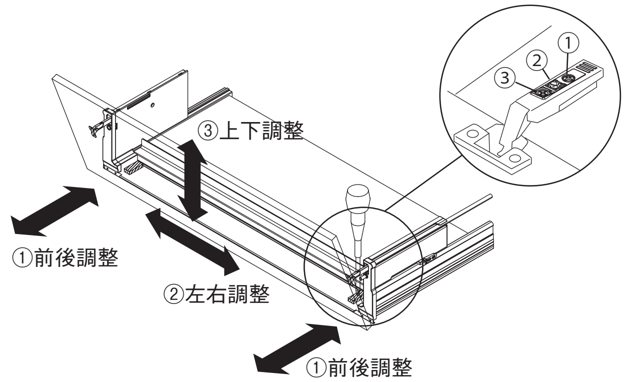
禁止 **スライドパレットを引き抜く際にカチッ！といわせない。**
カチッ！というと、ストライク金具とストライク受けが引っかかっています。そのまま外そうとするとスライドパレットが破損する原因となります。

禁止 **スライドパレットの前側を持ち上げる際にはワークトップやキャビネットにあてない。**
スライドパレットがキズつくおそれがあります。

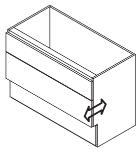
らくパッと収納扉の調整

調整方法

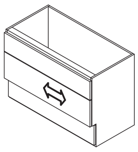
下図のように調整をしてください。



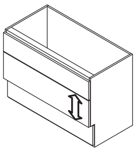
①前後調整
右に回すと後ろ方向に2mm
左に回すと前方向に3mm
調整できます。



②左右調整
右に回すと右方向に1.5mm
左に回すと左方向に1.5mm
調整できます。



③上下調整
右に回すと上方向に3mm
左に回すと下方向に3mm
調整できます。

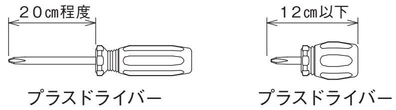


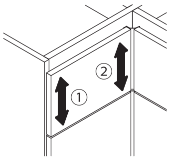
シンクキャビネットの場合、上下調整後チャイルドロックがかかることを確認してください。

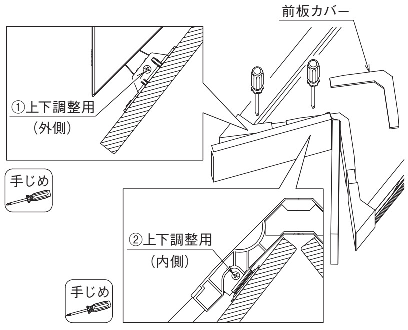
L 型コーナースライドストッカー鏡板の調整

●コーナーキャビネット鏡板の調整方法

扉調整に使用する工具

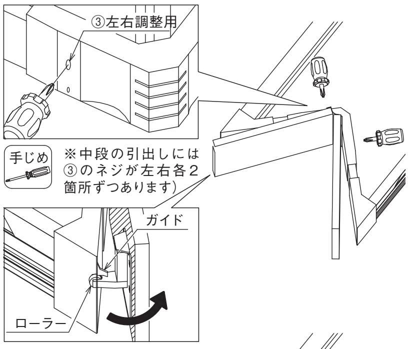






1.鏡板上下の調整方法

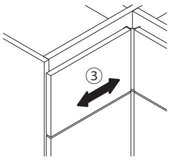
引出しの中央にある前板カバーを取り外し、左図の①および②のネジを右に回すと鏡板が上に移動し左に回すと下へ移動します。
※調整範囲：上下±2㎜程度



2.鏡板左右の調整方法

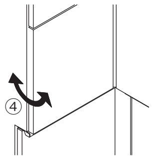
引出しの中央裏面の左図の③のネジ（左右に各1本をゆるめ鏡板を手で持って左右にスライドさせて）調整します。
※調整範囲：左右±2㎜程度
調整後は③のネジを締め直します。
（中段の引出しには③のネジが左右各2本ずつあります）

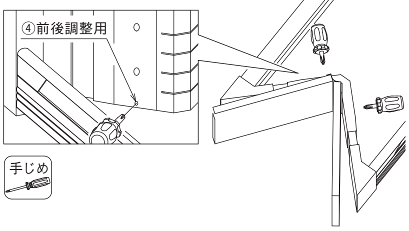
鏡板の左右調整時は、鏡板を傾けてローラーがガイドとかみ合うか確認します。



3.鏡板前後の調整方法（中段引出しのみ）

引出しの中央裏面の下にある左図の④のネジ（左右に各1本）を右に回すと、鏡板下側が引き箱の外側へ傾き、左に回すと引き箱の内側に傾きます。
※調整範囲：外側へ0.5度程度、手前側へ2度程度



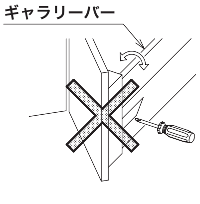


⚠注意

禁止

引出しの鏡板調整の際にレールの調整機能やギャラリーバーには触らない。

他の引出しと同様の方法で鏡板の調整を行うと引出し本体が破損するおそれがあります。



必ず実行

引出しの鏡板を調整する際は、扉などに指を挟まないよう注意する。

長くお使いいただくために・お手入れ方法

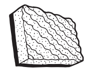
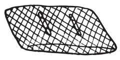
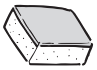
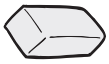
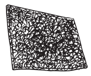
ワークトップまわり

お手入れの前に

ワークトップとシンクは素材や表面の仕上げ状態によってお手入れ方法が異なります。
まずはご自分のキッチンがどれにあてはまるかチェックしましょう。
ワークトップやシンクの種類によっては、お手入れの際の用具・洗剤など、使用に適さないことがあります。
下記の表を参考にまた、用具・洗剤類は使用上の注意をよくお読み戴き、お使いください。

■シンク・ワークトップのお手入れに使用できる用具

柔らかい ◀────────▶ 硬い

	柔らかい布	ウレタンスポンジ	ネットスポンジ	ナイロンタワシ（研磨粒子なし）	メラミンスポンジ	ナイロンタワシ（研磨粒子あり）	金属タワシ類
							
ステンレスシンク	○※	○※	○※	×	×	×	×
人造大理石シンク	○※	○※	○※	○※	○※	○※	×
デュアルコート付シンク	○※	○※	○※	×	×	×	×
バリアコートNEO付シンク	○※	○※	○※	○※	×	×	×
ステンレス製ワークトップ	○※	○※	○※	×	×	×	×
人造大理石製ワークトップ	○※	○※	○※	○※	○※	×	×
バリアコート付ワークトップ	○※	○※	○※	×	×	×	×

※水や洗剤を付けず、空拭きするとキズを付ける場合がありますので注意してください。

■シンク・ワークトップのお手入れに使用できる洗剤類・使用できない洗剤類

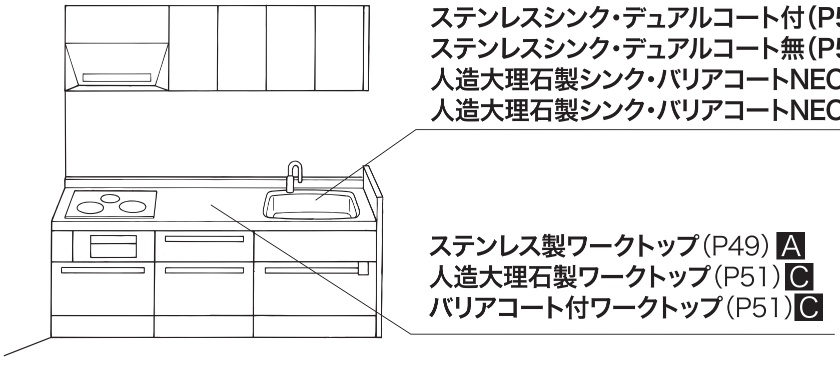
こびりついた汚れに使用します	台所用中性洗剤	クリームクレンザー	粉末クレンザー磨き粉	台所用酸性洗剤
	日常のお手入れに使用します	こびりついた汚れに使用します	粉状のもので、より研磨力が強い	シンク内のカルキ汚れに使用します
ステンレスシンク	○	○	×	○
人造大理石シンク	○	○	×	○※
デュアルコート付シンク	○	×	×	○
バリアコートNEO付シンク	○	×	×	○
ステンレス製ワークトップ	○	○	×	○
人造大理石製ワークトップ	○	○	×	○
バリアコート付ワークトップ	○	×	×	○

※ラクリーンシンクと人造大理石製ワークトップのつなぎ目は、台所用酸性洗剤と歯ブラシを組合わせて使用すると、汚れが落としやすくなります。

■下記のような洗剤が、シンクやワークトップに付着した際は、直ちに水で充分洗い流してください。

レンジフード洗浄剤	食器洗い乾燥機用洗剤	台所周り合成洗剤	排水管洗浄剤	台所用アルカリ性漂白剤
レンジフードなどの油汚れを落とします	食器洗い乾燥機で使用します	排水管の洗浄に使用します	排管つまりや臭いなどの洗浄用	ふきん、まな板などの除菌に使用します

※これらの洗剤は使用上の注意を良くお読み戴き、お使いください。



ステンレスシンク・デュアルコート付（P50）B-1
ステンレスシンク・デュアルコート無（P50）B-2
人造大理石製シンク・バリアコートNEO付（P52）D-1
人造大理石製シンク・バリアコートNEO無（P53）D-2

ステンレス製ワークトップ（P49） A
人造大理石製ワークトップ（P51） C
バリアコート付ワークトップ（P51） C

ワークトップ

お客さまチェック

- ステンレス製 ― 表面形状によるお手入れ方法の違いはありません □ → P49 ★ステンレスについて / P49 A ステンレス製ワークトップ
- 人造大理石製 ― シリーズによる日常のお手入れ方法の違いはありません モディッシュライントップとコーリアントップについては すりキズの補修ができます □ → P50 ☆ 人造大理石について / P51 C 人造大理石製ワークトップ

シンク

お客さまチェック

- ステンレス製
  - デュアルコート付 ― 底面に大小のドットがあります。 □ → P49 ★ステンレスについて / P50 B-1 ステンレスシンク・デュアルコート付
  - デュアルコート無 ― 底面は滑らかです。 □ → P49 ★ステンレスについて / P50 B-2 ステンレスシンク・デュアルコート無
- 人造大理石製
  - バリアコートNEO付 ― シンク本体の見た目では判断できません。シンク立ち面のシールでご確認ください。 □ → P50 ☆ 人造大理石について / P52 D-1 人造大理石シンク・バリアコートNEO付
  - バリアコートNEO無 ― シンク本体の見た目では判断できません。シンク立ち面のシールでご確認ください。 □ → P51 ☆ 人造大理石について / P53 D-2 人造大理石シンク・バリアコートNEO無

いずれのシンクにもゴミ収納器付排水トラップがつきます。→ P53

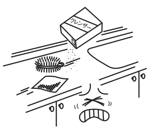
◇ステンレス（ステンレス製ワークトップ・ステンレス製シンク）

★ステンレスについて

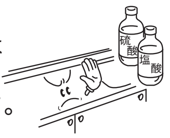
・ステンレスは、サビにくい金属ですが、塩素系洗剤やしょう油などの塩分の高いものが付着したまま放置するとサビる原因となります。
・空き缶など金属類を置いたままにすると、これらがサビて、そのサビがステンレスをサビさせることがあります。
　これをもらいサビといいます。
・水滴に含まれるカルシウム分などによって、白い水アカが残ることがあります。

⚠注意

禁止 **金属タワシ等の使用禁止。**
ナイロンタワシ・メラミンスポンジ・金属タワシ・粉末クレンザーを使用しないでください。目には見えない細かいキズをつけます。



禁止 **酸性薬品の使用禁止。**
硫酸・塩酸などの酸性薬品類は絶対に使用しないでください。
サビや変色のおそれがあります。



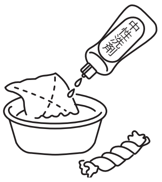
禁止 **ヌメリ取り剤の使用禁止。**
市販のゴミカゴ用のヌメリ取り剤は塩素ガスを発生させ、シンクや周辺のステンレスがサビる場合があります。使用しないでください。

ヌメリ取り剤

A ステンレス製ワークトップ

■毎日のお手入れ方法

1.布またはスポンジに、台所用中性洗剤をつけて汚れを落としてください。
2.トップに残った洗剤を、固く絞った布でふきとってください。
3.水分をふきあげてください。



■こんなときは

●塩素系洗剤やしょう油などが付着した
　→放置せず、充分に水洗いしてください。
●もらいサビが発生した、
　汚れ・水あかがこびりついた
　→クリームクレンザーでやさしくキズが付かないように磨いてください。

水アカはこびりついてしまうと、取り除くのが大変になるので、ご使用後は水分をふきあげてください。

※⚠注意事項についてはP49★を参照してください。
P12も併せてお読みください。

B ステンレス製シンク

B-1 ステンレスシンク・デュアルコート付

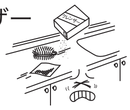
キズが付きにくく汚れにくくするためにコーティングをしているので、その他のステンレス製品とお手入れ方法が異なります。
ラクリーンシンクの排水口（てまなし排水口）の接続部分の汚れ落としには歯ブラシを使うと便利です。

■毎日のお手入れ方法

1.スポンジ（メラミンスポンジは除く）に少量の台所用中性洗剤をつけて洗ってください。
2.洗い終わったら水で流してください。

⚠注意

禁止 **金属タワシ等の使用禁止。**
ナイロンタワシ・メラミンスポンジ・金属タワシ・粉末クレンザー・クリームクレンザーを使用しないでください。コーティングをキズつけるおそれがあります。



禁止 **酸性･アルカリ性薬品や溶剤を流さない。**
コーティングをいためます。

禁止 **ヌメリ取り剤の使用禁止。**
市販のゴミカゴ用のヌメリ取り剤は、塩素ガスを発生させ、シンクや周辺のステンレスがさびる場合があります。使用しないでください。

禁止 **シンクマットなどの使用禁止。**
シンク面とシンクマットの間に砂や泥、ゴミが入りコーティングをいためます。

必ず実行 **排水管洗浄剤は直ちに水で充分洗い流す。**
コーティングをいためます。
あやまってシンクに付着した場合は直ちに水で充分洗い流してください。

必ず実行 **砂や泥を洗い流す。**
洗い流さずに作業するとキズがつくおそれがあります。

必ず実行 **アルカリ整水器の排水口からの捨て水は直ちに水で洗い流す。**
酸性水を長時間放置するとコーティングがいたむおそれがあります。

B-2 ステンレスシンク・デュアルコート無

■毎日のお手入れ方法

1.布またはスポンジに台所用中性洗剤をつけて洗ってください。
2.洗い終わったら水で流してください。
3.水分をふきあげてください。

※⚠注意事項についてはP49★を参照してください。

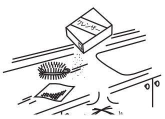
◇人造大理石

☆人造大理石について

・熱い油などの入ったナベを放置すると変色することがあります。熱いものを置くときは､ナベ敷きなどをお使いください。
・硬く鋭利な金属や陶器などで表面にキズが入ることがあります。

⚠注意

禁止 **金属タワシ等の使用禁止。**
金属タワシ・粉末クレンザーを使用しないでください。目には見えない細かいキズをつけます。



禁止 **熱いものを直に置かない。**
熱により変色するおそれがあります。

禁止 **漂白剤･酸性薬品･溶剤の使用禁止。**
漂白剤や塩酸などの酸性薬品類、シンナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。
変色・変質のおそれがあります。

禁止 **人造大理石シンク専用お手入れセットは、人造大理石トップに使用しない。**
トップ表面の光沢が落ちて汚れやすくなります。

禁止 **ヌメリ取り剤の使用禁止。**
市販のゴミカゴ用のヌメリ取り剤は塩素ガスを発生させ、シンクや周辺のステンレスがサビる場合があります。使用しないでください。

C 人造大理石ワークトップ

■毎日のお手入れ方法

1.布またはスポンジに、台所用中性洗剤をつけて汚れを落としてください。
2.トップに残った洗剤を、固く絞った布でふきとってください。
3.水分をふきあげてください。

■こんなときは

●塩素系洗剤やしょう油などが付着した
　→放置せず、充分に水洗いしてください。
●もらいサビが発生した、
　汚れ・水あかがこびりついた
　→クリームクレンザーでやさしくキズが付かないように磨いてください。

水アカはこびりついてしまうと、取り除くのが大変になるので、ご使用後は水分をふきあげてください。

※⚠ **注意事項についてはP50 ☆ を参照してください。P12も併せてお読みください。**

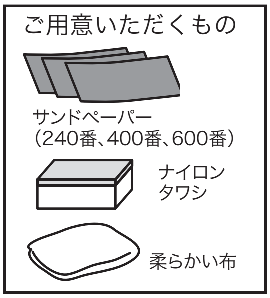
必ず実行 クレンザーには研磨剤が入っているため、一部だけふき過ぎますと光沢が変わることがありますので、状況を見ながらふいてください。特に、濃色系（モディッシュライン：ブラングレー、コーリアン：ココアブラウン）は光沢が出やすいため、クレンザーの使用はお勧めできません。

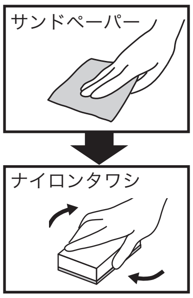
■モディッシュライントップ･コーリアントップのすりキズの補修について

●モディッシュライントップ･コーリアントップはすりキズ程度ならばお客さまご自身で補修できます。
●モディッシュライン（ブラングレー）、コーリアン（ココアブラウン）およびその他スタンダードシリーズのキズの補修はお買い上げの販売店またはお客さまセンターまでお問い合わせください。

◆すりキズが付いた場合の補修方法<モディッシュライン（ブラングレー）、コーリアン（ココアブラウン）は除く>

必ず実行 補修を始める前に、あらかじめ目立たないところでお試しください。（手順①〜④）
お試ししてうまくいかなかったりわからないことがある場合は、お買い上げの販売店またはお客さま相談センターへご連絡ください。





<手順>

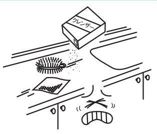
①目の粗い240番のサンドペーパーでキズが消えるまで磨いてください。
②順次、目の細かい400番→600番のサンドペーパーで磨いてください。
③ツヤが出ていない場合は、乾いた状態のナイロンタワシ〈推奨品：Scotch-Brite ハイブリット貼り合わせスポンジ、Scotch-Brite SS72（研磨粒子なし）〉を使って軽く磨いて、まわりのツヤと合わせるように仕上げてください。
④仕上げは、水ぶきをしてから乾いた布で水分をふきあげてください。

■バリアコートワークトップについて

1. 柔らかい布またはスポンジに中性洗剤をつけて汚れを落としてください。
2. トップに残った洗剤を固く絞った柔らかい布でふきとってください。

⚠注意

禁止 **ナイロンタワシ･メラミンスポンジ･金属タワシ･クリームクレンザー･粉末クレンザーの使用禁止。**
トップ表面のバリアコートをいためるおそれがあります。



※ワークトップのバリアコートの効果が低下した場合は、
“バリアコートお手入れキット（別売品）”をご使用ください。

D 人造大理石製シンク・キレイシンク

D-1 人造大理石シンク・バリアコートNEO付

●汚れがつきにくく拭取りやすいコーティングをしているので、従来の人造大理石シンクとお手入れ方法が異なります。
●バリアコートNEOの効果は永久ではなく、使用期間によりおだやかに低下します。効果が低下しても従来の人造大理石シンクの性能に近づくだけで、ご使用上の支障はありません。
●コートを傷つけず性能を長く保つため、下記に記載してあるお手入れ方法・注意事項をお守りください。
●コート面のわずかなザラツキ感はキズが入りにくくするための特殊添加剤によるものです。
●ワークトップとシンクの接合部周辺はコーティングがありません。
●包丁などの硬く鋭利な金属や陶器などでコート面をいためる他、人造大理石素地にキズが入ることがあります。

■毎日のお手入れ

1.水を含ませた布または柔らかいスポンジで拭いてください。
2.水分をふきあげてください。

■汚れが気になる時

1.台所用中性洗剤を含ませた柔らかいスポンジで洗ってください。
2.よく水洗いをしてください。
3.水分をふきあげてください。

■がんこな汚れの場合

油汚れや水あか、茶しぶなどは時間がたつとこびりつき落ちにくくなります。水洗いや中性洗剤で落ちないがんこな汚れの場合下記のようなお手入れ方法で行ってください。

①油汚れの場合

1.台所用アルカリ性洗剤を含ませた柔らかいスポンジで洗ってください。
2.洗剤分が残らないようによく水洗いをしてください。
（あたたかいお湯で洗うと油汚れを落としやすくなります）
3.水分をふきあげてください。

②水あか、茶しぶ汚れの場合

1.台所用塩素系漂白剤を汚れ箇所に直接スプレーしてください。
2.2～3分放置後柔らかいスポンジでこすり落としてください。
3.洗剤分が残らないようによく水洗いをしてください。
4.水分をふきあげてください。

■水はじきが悪くなったと感じたら

①上記に記載してある、「がんこな汚れ」に対するお手入れをおこなってください。
※汚れが落ちない場合は数回繰り返してください。
（汚れが残っていると、コーティングが表面に露出せず、効果が得られない場合があります）
②①の手順をおこなっても水滴をはじかない場合はバリアコートNEOの効果が低下しています。
“バリアコートNEOお手入れキット（別売り品）”や“再加工サービス（有料）”を御用意しております。
※コーティングを補修するもので、キズは直りません。

●水はじきの目安

水滴をはじかない
①汚れが残っている場合があります
②効果が低下しています

水滴をはじいている

⚠注意

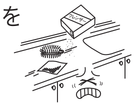
強く乾拭きしないでください。（禁止）
コーティングにキズがつき汚れが落ちにくくなります。

シンクマットなどの使用禁止。（禁止）
シンク面とシンクマットの間に砂や泥、ゴミが入りコーティングをいためます。

ヌメリ取り剤の使用禁止。（禁止）
市販のゴミカゴ用のヌメリ取り剤は、塩素ガスを発生させ、シンクや周辺のステンレスがさびる場合があります。使用しないでください。

酸性・アルカリ性薬品・溶剤の使用禁止。（禁止）
塩酸などの酸性薬品やアルカリ性薬品、シンナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。コーティングをいため、人造大理石の変色・変質のおそれがあります。

金属タワシ等の使用禁止。（禁止）
ナイロンタワシ（研磨粒子あり）・メラミンスポンジ・金属タワシ・粉末クレンザー・クリームクレンザーを使用しないでください。コーティングをキズつけるおそれがあります。



熱した鍋等を直接置かない。（禁止）
コーティングをいためるおそれがあります。

砂や泥を洗い流す。（必ず実行）
洗い流さずに作業するとキズがつくおそれがあります。

排水管洗浄剤は直ちに水で充分洗い流す。（必ず実行）
コーティングをいためます。
あやまってシンクに付着した場合は直ちに水で充分洗い流してください。

アルカリ整水器の排水口からの捨て水は直ちに水で洗い流す。（必ず実行）
酸性水を長時間放置するとコーティングがいたむおそれがあります。

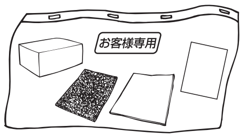
D-2 人造大理石シンク・バリアコートNEO無

■お手入れの前に

●汚れ・キズの程度により、お手入れの手順と使用するものが異なります。
●人造大理石シンクには、下記の図のような「お手入れキット」が付属されています。メラミンスポンジ、ナイロンタワシ、耐水ペーパーはお近くのホームセンターで同等のものを購入できます。

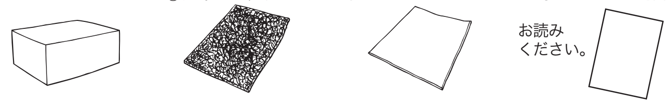
人造大理石シンク専用

お手入れキット



付属部品

①メラミンスポンジ(白)　②ナイロンタワシ(茶)　③耐水ペーパー(#320)　④お手入れ説明書

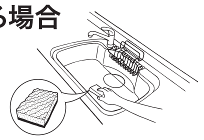


※デュアルコートタイプ・センターポケットシンク・ラウンドシンクには付属されません。

■日常のお手入れ

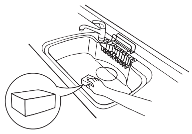
①毎日のお手入れヌメリなどが気になる場合

ウレタンスポンジ(食器用スポンジ)や布で、水洗いまたは中性洗剤をつけて汚れを落としてください。



②「茶しぶ」などの水洗いで落ちないがんこな汚れの場合

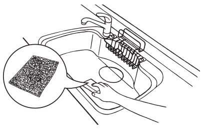
付属のメラミンスポンジに水を含ませて、汚れが気になる部分をこすってください。



■キズが付いた場合

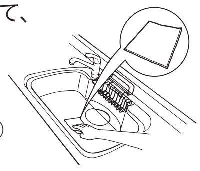
①食器洗いなどで付いた小さなキズの場合

付属のナイロンタワシで円を描くように研磨してください。研磨し過ぎるとツヤが出ますので、状況をみながら研磨してください。仕上げに、付属のメラミンスポンジに水を含ませて軽くこすってください。この方法でキズが取れない場合は、次の②の手順を行ってください。



②ナイロンタワシで取れない浅いキズの場合

付属の耐水ペーパー(#320)に水を付けて、円を描くように研磨してください。仕上げに、付属のメラミンスポンジに水を含ませて軽くこすってください。この方法でキズが取れない場合は、次の③の手順で補修が必要となります。



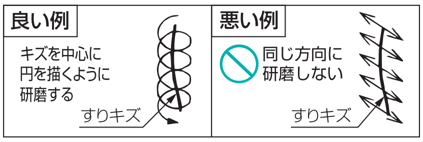
③深いキズや欠けが発生した場合

包丁などの鋭利なものを落としてついた深いキズや欠けは、補修が必要となります。有償にて修理を承っておりますのでお買いあげの販売店、またはお客さま修理受付センターまでお問い合わせください。

※ ⚠注意事項についてはP50☆を参照してください。

■キズ直しのポイント

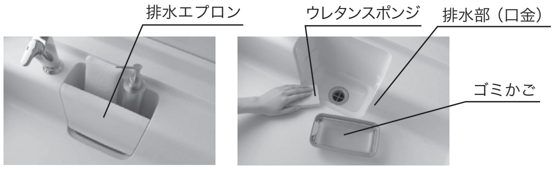
■一定の方向にならないように、キズの中心に円を描くように研磨してください。
■ツヤの違いが気になる場合は、適量のクレンザーをスポンジにつけて、研磨部と未研磨部の境目をこすってなじませてください。



ゴミ収納器付排水トラップ（小型排水トラップ　キレイシンク用・てまなし排水口　ラクリーンシンク用）

■毎日のお手入れ

排水エプロン・ゴミかご・排水部(口金)の周りをウレタンスポンジや布で洗います。

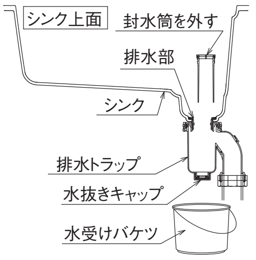


■物が流れてしまったら流れた物を取除いてください、

1.排水トラップ本体の下に水受けバケツ等を用意してください。
2.排水部の封水筒を取外し、トラップ本体の水抜きキャップを外します。
　※水抜きキャップを外す時は、水が流れ出ますので注意してください。
3.流れた物を取除きます。
4.水抜きキャップを取付け、水を流して水漏れのないことを確認します。

■排水の流れが悪くなったら排水トラップの掃除をしてください。

1.排水部の封水筒を取外します。
2.スポンジやブラシ等で清掃してください。
3.封水筒を確実に取付けてください。



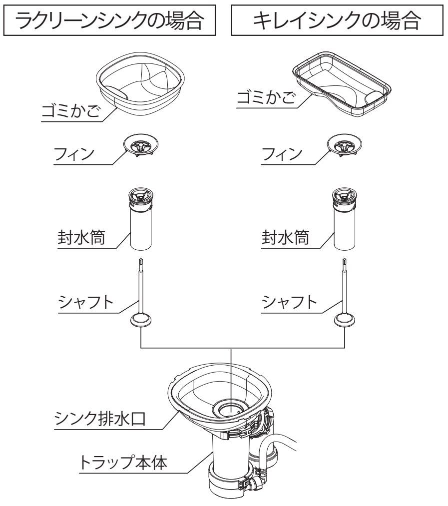
〈封水筒の取付け・取外し〉
矢印の方向に回します。

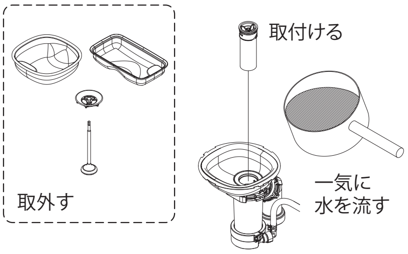
⚠注意

清掃後、排水トラップの水抜きキャップを確実に締める。(水抜きキャップは手締めしてください。)

必ず実行　水漏れ、拡大損害の原因となります。取付け後、水漏れがないか確認してください。

ラクリーンシンク・人大シンク用ゴミ収納器付排水トラップ（くるりん排水口用小型排水トラップ）





■普段のお手入れ

1.水栓からの吐水を止めます。
2.ゴミかご・フィンを取外し、お湯または台所用中性洗剤で洗います。
2.シンク排水口をスポンジでこすります。
3.洗い終わったら水で流してください。
4.各部品を元に戻します。

■フィンに物がからまったら

1.水栓からの吐水を止めます。
2.ゴミかご・フィンを取外し、からまった物を取除きます。
3.各部品を元に戻します。

■物が流れてしまったら

1.水栓からの吐水を止めます。
2.ゴミかご・フィン・封水筒・シャフトを取外します。
3.シンク排水口のから長めの棒などで拾い上げてください。
4.各部品を元に戻します。

■排水の流れが悪くなったら
■フィンがうまく回転しなくなったら
■回転時に異音がするようになったら

フィン・封水筒・シャフト・トラップ本体に汚れが蓄積すると、排水の流れが悪くなったり、フィンがうまく回転しなくなったり、回転時に異音がすることがあります。また、砂や泥がトラップに流れ込むと、シャフトにかみこんでフィンが回転しなくなったり異音がすることがあります。

1.水栓からの吐水を止めます。
2.ゴミかご・フィン・封水筒・シャフトを取り外します。
3.封水筒・シャフトをスポンジと台所用中性洗剤で洗います。洗いにくい部分は歯ブラシや綿棒を使うと便利です。シャフトの底面に付着した砂鉄等の異物は乾いた布やティッシュなどでつまみ取るように取り除いてください。
4.トラップ本体を洗います。小型の柄つきブラシを使うと便利です。
5.シャフトは外したまま、封水筒だけを元に戻します。
6.大きめの鍋いっぱいに水を溜め、排水口に一気に流します。
7.封水筒を外します。
8.各部品を元に戻します。

⚠注意

フィン・封水筒・シャフトの取付け・取外しは、水栓からの吐水を止めて行う。

必ず実行

取付け・取外しの途中で吐水をすると、部品が不安定なまま回転し思わぬケガをするおそれがあります。

ゴミ収納器付排水トラップ（カップイントラップ　センターポケットシンク、ラウンドシンク用）

■毎日のお手入れ

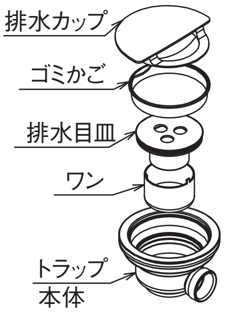
1.排水カップ・ゴミかごをお湯または台所用中性洗剤で洗います。
2.排水目皿の表面をスポンジでこすります。
3.洗い終わったら水で流してください。
4.各部品を元に戻します。

■月に1回お手入れ

1.排水カップ・ゴミかご・排水目皿・ワンを取外し、お湯または台所用中性洗剤で洗います。
2.トラップ本体をお湯または台所用中性洗剤で洗います。
3.洗い終わったら水で洗い流してください。
4.各部品を元に戻します。
5.最後に少量の水を流してワンに水を溜めます。

■排水の流れが悪くなったら

1.排水目皿にワンを取外してトラップ本体に溜まったものを取り除きます。
2.排水目皿・ワン・トラップ本体を洗います。
3.各部品を元に戻します。
4.最後に少量の水を流してワンに水を溜めます。



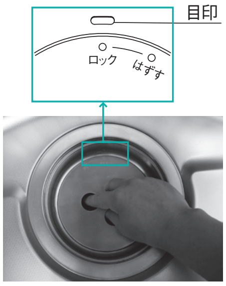
シンク種によって排水カップの形状が異なります。

<排水目皿の取り外し方>

3つの穴に指を差込み左に回して引き上げます。

<排水目皿のはめ方>

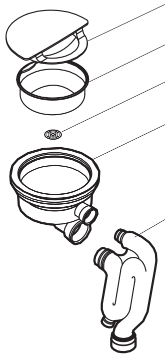
目印の位置に「はずす」がくるように排水目皿を置き、「ロック」の位置になるまで右に回します。



ゴミ収納器付き排水トラップステンレス排水口タイプ（センターポケットシンク・ラウンドシンク用）

■毎日のお手入れ

1.排水カップ（または排水口カバー）・ゴミかごをお湯または台所用中性洗剤で洗います。
2.洗い終わったら水で流してください。
3.各部品を元に戻します。

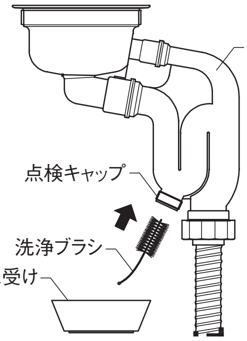


■排水の流れが悪くなったら

1.排水トラップの下に水受けバケツ等を用意してください。
2.トラップ下部の点検キャップを取り外します。
　※点検キャップを外すときは、水が流れ出ますので注意してください。
3.市販の洗浄ブラシ等を使用して汚れを取除きます。
4.洗い終わったら点検キャップをしっかりと取り付けます。
5.水を流して、水漏れがないか確認します。

■物が流れてしまったら

1.排水トラップの下に水受けバケツ等を用意してください。
2.トラップ下部の点検キャップを取り外します。
　※点検キャップを外すときは、水が流れ出ますので注意してください。
3.流れたものを取除きます。
4.点検キャップをしっかりと取り付けます。
5.水を流して、水漏れがないか確認します。



⚠注意

禁止

粘度のあるものや、油類を流さない。
おかゆや調理で残った油などを流すと固まってしまい、トラップの詰まりの原因になります。
誤って流してしまった場合は、お湯を鍋等にいっぱいにくみ、数回流してください。

必ず実行

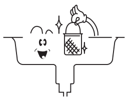
排水トラップ、ゴミかごを使用する。
排水カップ、ゴミかごを取付けずに排水をおこなうと、トラップ内にゴミ等が流入し、トラップの詰まりの原因になります。

禁止

市販の排水口用水切りネットを使用しない。
市販の排水口用水切りネットを使用すると、ゴミかごの詰まりの原因になったり、排水能力が低下します。

必ず実行

ゴミはこまめに捨てる。
ゴミかごにたまったゴミは、すぐに捨ててください。ゴミかごにゴミをためておくと、排水能力が低下し、ゴミが腐って臭気の原因になります。



扉・ガラス扉・化粧パネル・樹脂パネル扉（ドア）のお手入れ方法

●通常のお手入れは柔らかい布でやさしく空ふきしてください。
※柔らかい布とは、メガネふきや楽器ふきで使用するような布を指します。

必ず実行

濡れたら（汚れたら）すぐふき取る。
強くこすらない。
特にツヤのある扉は、表面にキズをつけいためてしまうことがあるので注意してください。

●汚れがひどい部分は、薄めた台所用中性洗剤を含ませた柔らかい布で、こすらずに押し当てるようにして落としてください。扉の表面に洗剤を残さないように固くしぼった柔らかい布で水拭きし、乾いた柔らかい布でやさしく空ふきしてください。

⚠注意
中性洗剤分が残ると扉の表面をいため変色のおそれがあります。

●ガラス扉の場合は、ガラス用洗剤か、台所用中性洗剤を含ませた柔らかい布で汚れを落としてください。次に水を含んだ柔らかい布で洗剤をふき取り、乾いた柔らかい布でやさしく空ふきしてください。

●樹脂パネル扉（ドア）の場合は、薄めた台所用中性洗剤を含ませた柔らかい布で汚れを落としてください。次に水を含んだ布で洗剤をふきとり、乾いた布でやさしく空ふきしてください。また、乾燥した日には樹脂パネルに静電気が発生しホコリが付きやすくなりますので、こまめにお手入れしてください。

必ず実行

・汚れがあるときは、薄めた台所用中性洗剤を含ませた柔らかい布で、こすらずに押し当てるようにして落とし、乾いた柔らかい布でやさしく空ふきしてください。

⚠注意

禁止

洗剤は原液のまま使わない。
また粉末クレンザーなど研磨力のある洗剤・アルカリ性洗剤・シンナー・アルコールなど溶剤を使わない。
キズを付けてしまったり、変色の原因になります。

引出しのお手入れ方法

●引出しは汚れが溜まりやすい所です。ときどき布やスポンジに台所用中性洗剤をつけて汚れをふきとります。洗剤は水を含んだ布でふきとり、乾いた布でからぶきしてください。

●フロア引出しの場合、下端にパッキンが付いています。パッキンが汚れた場合は、水を含んだ布で、汚れをふき取ってください。

キャビネットのお手入れ方法

●キャビネットの汚れは布かスポンジに台所用中性洗剤をつけてふき取ります。洗剤は水を含んだ布でふき取り、乾いた布でからぶきしてください。隅にたまったゴミはブラシで取除いてください。
油・調味料・食品の汚れを放置しているとサビやカビの原因になりますので早めにお手入れしてください。

取手のお手入れ方法

●布やスポンジに中性洗剤をつけて汚れをふきとります。 洗剤は水を含んだ布でふき取り、乾いた布で空ふきしてください。
扉の種類(シリーズ)により、取っ手の形状が異なります。また取手が付かないで扉にヘコミ形状を付けた扉があります。(J型手掛け扉)

必ず実行

ヘコミ部にホコリがたまる場合があります。扉のお手入れ方法を参照し、こまめにお手入れをしてください。
ホコリと手の汚れ（皮脂）による黒ずみの原因となります。

⚠注意

禁止

中性洗剤以外は使わない。
家具用ワックスやシンナー、アルコール等の溶剤または研磨剤の入った洗剤は使用しないでください。
変色や光沢をなくしたりして、表面をいためます。

パッとポケットのお手入れ方法

パッとポケットは外して洗うことができます。
●水洗い、または台所用中性洗剤を含んだスポンジで水を流しながら洗います。
●らくパッと収納（ポケット類）を空ふきをして元に戻します。

パッとシェルフのお手入れ方法

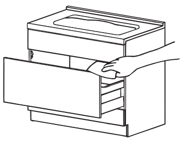
1.布またはスポンジに台所用中性洗剤をつけて汚れを落としてください。
2.残った洗剤を固く絞った布でふき取ってください。

アシストポケットのお手入れ方法

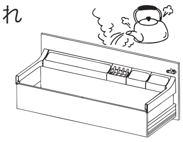
●アシストポケットをお手入れする場合は家庭用のワックスやシンナーアルコール等の溶剤または研磨剤の入った洗剤は使用しない。
変色や光沢をなくしたりして､化粧面をキズつけます。

禁止

●アシストポケットの内面をお手入れする場合は、内装品を外すとお手入れしやすくなります。汚れは布かスポンジに中性洗剤をつけてふきとってください。仕上げは水をふくんだ布で洗剤をふきとり､乾いた布でからぶきしてください。隅にたまったゴミはブラシや綿棒等で取除いてください。



●アシストポケットの内装品をお手入れする場合、熱湯消毒はしない。
内部が変形するおそれがあります。

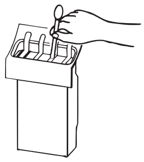


禁止

●アシストポケットの外面（化粧面）をお手入れする場合は柔らかい布でからぶきしてください。

■内装部品のお手入れ方法

内装部品は水で丸洗いできます。丸洗いした後は、乾いた布でからぶきしてください。
内装部品のお手入れのしづらい箇所は、ブラシや綿棒等で隅にたまったゴミを取除いてください。
※アシストポケットの内装部品の外し方はP26をお読みください。



スマートトレーのお手入れ方法

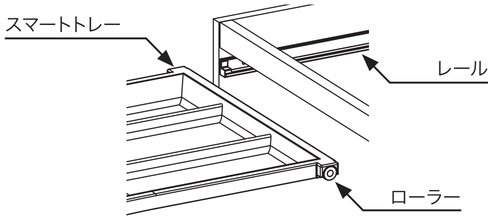
●布やスポンジに台所用中性洗剤をつけて汚れをふき取ります。
　洗剤は水を含んだ布で、汚れをふき取り、乾いた布でからぶきしてください。

⚠注意

禁止 **スマートトレーは外して水で丸洗いしない。**
裏面のローラーの動きが悪くなるおそれがあります。

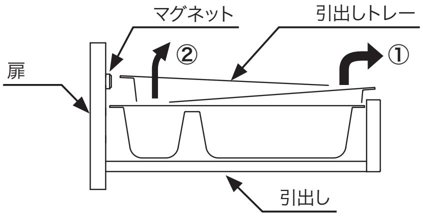
禁止 **スマートトレー、スマートトレー用シート、引出しトレーは熱湯消毒しない。**
変形するおそれがあります。

〈スマートトレーの外し方〉



スマートトレーを完全に引き出した状態で持ち上げ、そのまま引出して外します。取付けはスマートトレーについているローラーとレールがかみ合うようにスマートトレーを入れてください。

〈スマートトレー付引出しトレーの外し方〉



①引出しトレーの後ろ側を持ち上げ、後ろ側へスライドさせてください。
②その状態で引出しトレーの手前側を持ち上げ、鏡板裏面についているマグネットに当たらないように外してください。

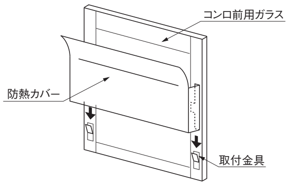
コンロ前用ガラス・防熱カバー・シンク前スクリーン(オプション)のお手入れ方法

●コンロ前用ガラス・シンク前スクリーンは、ガラス用洗剤か台所用中性洗剤を布またはスポンジに含ませて汚れを落として、乾いた布でふきあげてください。

●防熱カバーは取外して布またはスポンジに薄めた台所用中性洗剤をつけて汚れを落としてください。そのままにせず水を含んだ布でふき取り、乾いた布で空ふきしてください。
取付金具等のお手入れしにくい部分に関しては、ブラシなどでゴミを取り除いてください。

防熱カバーの外し方

●防熱カバーは上に引き上げると取付金具から外れて取外すことができます。



※コンロ前用ガラスは高さの低いハーフタイプもあります。

⚠注意 加熱機器使用直後は、防熱カバーを外す時にヤケドをするおそれがあります。

油はねガードのお手入れ方法

1.やわらかい布またはスポンジに、台所用中性洗剤をつけて汚れを落としてください。
2.固くしぼった布で残った洗剤をふき取ってください。
3.乾いた布で空ふきをしてください。

サービスカウンターのお手入れ方法

やわらかい布またはスポンジに台所用中性洗剤をつけて汚れを落としてください。
それでも落ちない汚れは、弱アルカリ性・弱酸性の洗剤を使用してください。

必ず実行 洗剤の容器に表記されている使用上の注意をよく読んでお手入れしてください。

サンウォーレタイルパネルのお手入れ方法

下記方法により行ってください。異なる方法で行うと、パネル表面にキズがついたり、変色等が生じる場合があります。

○日常のお手入れ

準備するもの	お手入れ方法
・柔らかい布、スポンジ ※金属製の清掃用具 (たわし、ブラシ) や、研磨剤入りのスポンジは、パネル表面をキズつける恐れがあるため、使用しないでください。 ・中性洗剤、レンジ用クリーナー ※酸性・アルカリ性の強い洗剤は、パネル表面 (目地部分) を変質させるおそれがあるため、使用は避けてください。 	①柔らかい布またはスポンジに、水または薄めた中性洗剤、またはレンジ用クリーナー等を付け、軽くこすり汚れを落とします。 ②パネル表面に残った洗剤等を、固く絞ったぬれ布巾で拭き取ります。 ※タイル部分を拭いた後に目地部分をなぞるように拭くと、汚れが残りにくくなります。 ③乾いた布でから拭きします。

※パネル内の目地部分に汚れが残って気になる場合は、薄めた塩素系漂白剤をつけた布などで叩くようにして汚れを拭き取ってください。
(塩素系漂白剤を使用するときの注意点)
①使用時は十分換気してください。②漂白剤はパネル表面に直接塗布しないでください。他の部材に付着して変色等の原因になります。
③塩素系漂白剤と酸素系漂白剤が混じると有毒ガスが発生します。一緒に使用しないでください。各洗剤の使用上の注意をよく読んでお使いください。④使用後は、固く絞ったぬれ布巾で拭き取ってください。
※シーリング部分は、ナイロンタワシまたは歯ブラシに、ネリハミガキ粉または液体クレンザーをつけ、軽くこすり汚れを落とした後、パネル表面に残った洗剤等を固く絞ったぬれ布巾で拭き取ります。最後に乾いた布でから拭きします。
○万一破損した場合は使用を中止し、建築会社様または施工業者様にご連絡ください。また破損した部分には触れないようにしてください。
(不用意に触れるとケガをするおそれがあります。)

収納例

『使いたい物』を『使いたい場所』に収納するとラクにパッと出し入れできます！

シンク下収納

調理の基本道具はココが指定席！

手順よく始まって時間もグンと短縮。

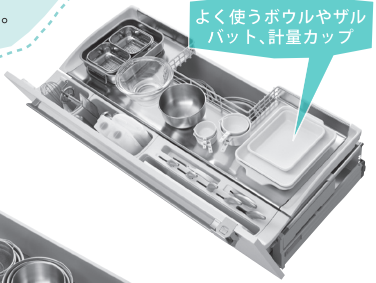
上段

中段（らくパッと収納）

毎日使う道具をしっかり選んでから入れましょう。重ねすぎないのがポイント。

シンク下は湿気を気にする食品などは避けた方が◎

パッとシェルフ
有効高さ 13.6cm
最大積載重量 5kg



パッとポケット
有効高さ 35.9cm
最大積載重量 4kg

まな板、包丁、ラップ、背の高い調理道具

パッとストッカー
有効高さ 19.4cm
最大積載重量 30kg

たまに使うもの、大きめの調理道具

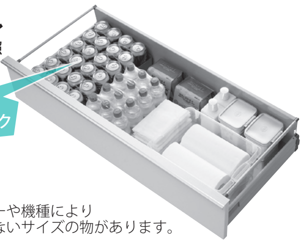
中段（アシストポケット）

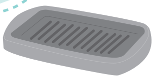
フライパンや鍋、やかんなど、よく使う調理道具を収納。深鍋も入る深さです。

下段

ワイドなシンク下の下段はホットプレートの収納場所も便利です。

下段引き出し
有効高さ ※右表を参照
最大積載重量 20kg





※メーカーや機種により収納できないサイズの物があります。

調理台下収納

調味料や食材は中央に収納！

ムダな動きがないから作業がはかどります。

上段

収納する物に合わせてトレーの仕切りは動かせます。外して洗えるのも嬉しい。

上段引き出し
有効高さ 12.9cm
最大積載重量 20kg

中段（らくパッと収納）

パッとシェルフ
有効高さ 13.6cm
最大積載重量 5kg

調味料や粉ものなど小さなスパイス類

粉ものや液体調味料など底板が汚れやすいものは調味料トレーに置くと◎。

⚠注意
開封後のお醤油などは冷蔵庫に入れましょう！食品はパッケージに書かれている保存方法を守ってください。

パッとポケット
有効高さ 35.9cm
最大積載重量 4kg

パッとストッカー
有効高さ 19.4cm
最大積載重量 30kg

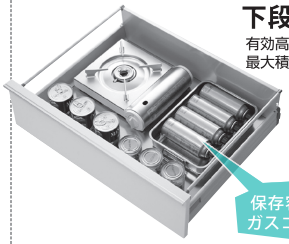
缶詰や乾物類

中段（アシストポケット）

液体調味料やオイル、パスタなど背の高いものはここに。キッチンペーパーもしまえます。

下段

下段引き出し
有効高さ ※右表を参照
最大積載重量 20kg



食器洗い機の場合

⚠注意
食洗機の下は温度が高くなります。食品やガスボンベは収納できません。

らくパッと収納

いつも使うものは
中段の「らくパッと収納」
でキマリ!

パッとシェルフ
見やすさ・出しやすさはダントツ。
よく使う道具がラクな姿勢で取り出せます。

パッとポケット
パッとすばやく取り出したい道具はココ。
調理の手順がスムーズ＆スピーディ。

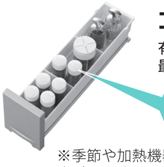
パッとストッカー
大型の道具をたっぷり収納できます。
たくさん重ねないことも取り出しやすさのコツ。

※収納例は「らく&らくプラン ※らくパッと収納3つ付き」の場合です。「らく&らくプラン」以外の場合は、調理台下収納は引出し収納になります。

コンロで使うものを一緒に収納!

一度に出せると 気分もいいしラクラク。

仕切りを外すと揚げ物用の長い菜ばしなども収納できます。



コンロ脇小引き出し
有効高さ 約14.0cm
最大積載重量 2kg

細かいもの

※季節や加熱機器の使い方によっては小引出し内の温度が上昇することがあります。調味料や食品はそれぞれに記載されている保存方法に従って収納してください。

パッとシェルフ
有効高さ 11.5cm
最大積載重量 5kg

よく使う平たいフライパンや卵焼き器

フライパンなどの高さ

11cm以下

パッとポケット
有効高さ 33.8cm
最大積載重量 4kg

よく使う油やお玉 鍋つかみなど

「パッとポケット」は1kg のサラダ油がちょうど入る大きさです。
サラダ油、健康油、オリーブオイル、ゴマ油をまとめてどうぞ!

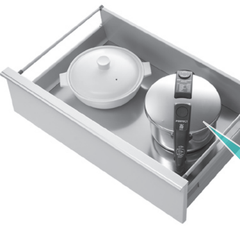
※写真はIHキャビネットです。

両手鍋や片手鍋 鍋ふたなど

パッとストッカー
有効高さ 19.4cm
最大積載重量 30kg

キャビネット構造の違いで、シンク、調理キャビネットと高さが異なります。

ウルやザル、パット、軽量カップなど、水まわりで使う道具をたっぷりと収納できます。
ポケットなしのキャビネットは、包丁差しがセットされます。



下段引き出し
有効高さ ※右表を参照
最大積載重量 20kg

季節ものの鍋 大きなもの

見た目以上に収納できる場所です。大きめの両手鍋などはこちらへ。

もっともっと使いこなして

パッと使うためのコツ

普段使いに優先席を

高さのある調理器具を収納できるのが「パッとポケット」。でも普段あまり使わない『すりこぎ』や『巻きす』と、よく使う『菜ばし』や『お玉』などを一緒に収納するのはNG。狭くなったり引っかかったりしがちです。「パッとポケット」には普段使いの道具を優先して収納しましょう。

長持ちさせるコツ

バランスが問題

ひとつの引出しに重さが集中しないようにしましょう。また同じ引出しの中も、前後左右での重さのバランスを取ることが大事。引出しが長持ちするだけでなく、ラクに開け閉めできます。「パッとシェルフ」も左右のバランスを考えて収納すると出し入れがスムーズです。

高さを知って!

「パッとポケット」「パッとシェルフ」

「パッとポケット」と「パッとシェルフ」の収納有効高さは、キャビネットによって違います。コンロの下は機器を設置する関係で、シンク下・調理台下よりも約 2cm 低くなっているのでご注意ください。

「下段引出し」

下段引出しの収納有効高さは、キッチン本体の高さにより異なります。

キッチン本体高さ	下段引き出し収納有効高さ
80・82.5cm	13.0cm
85・87.5cm	18.0cm
90cm	23.0cm

⚠注意

禁止

食器洗い乾燥機の上下引出しには温度や湿気の影響を受けるものを収納しない。

排熱により高温になることがあり、内容物が劣化したり容器が破損するおそれがあります。パッケージに記載されている注意事項などをご確認の上、高温多湿をきらうものは収納しないでください。

禁止

引出しの最大積載重量を守る。(引出しの最大積載重量はP21を参照ください。)

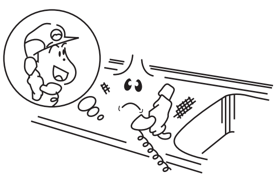
それぞれの最大積載重量をこえると、引出しの開閉に支障をきたすおそれがあります。間口の広い引出しに重量物を多く収納すると最大積載重量をこえることがあります。

故障・修理について

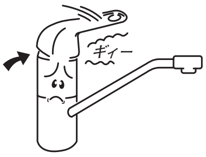
製品には万全を尽くしておりますが、長い間使用していますと多少の不具合が出ることがあります。
その場合は以下のように行ってください。

ワークトップ・シンク・扉・水栓金具

●人造大理石トップやステンレストップ、また扉についた細かいキズや変色には修理できるものもあります。お早めに、お買いあげいただいた販売店か、修理受付センターまでご連絡ください。



●水栓金具レバーは長い期間使用すると、レバー操作時の抵抗が大きくなります。これは故障ではなく、水垢などによるグリースの消耗が原因です。お買いあげいただいた販売店か、修理受付センターまでご連絡ください。



●バリアコートワークトップについて

・ワークトップのバリアコートの効果が低下した場合は、“バリアコートお手入れキット（別売品）”をご使用ください。
・“バリアコートお手入れキット（別売品）”のご依頼は、お買い上げいただいた販売店か、修理受付センターまでご連絡ください。

●バリアコートNEOシンクについて

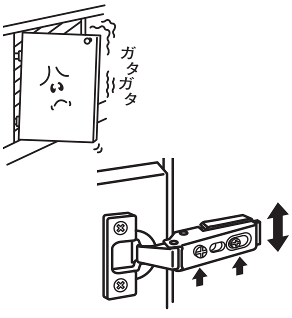
・シンクのバリアコートNEOの効果が低下した場合は、“バリアコートNEOお手入れキット（別売品）”をご使用ください。
・“バリアコートNEOお手入れキット（別売品）”のご依頼は、お買い上げいただいた販売店か、修理受付センターまでご連絡ください。

キャビネット

■扉がガタつく

扉の吊り元の丁番がゆるんでいませんか？

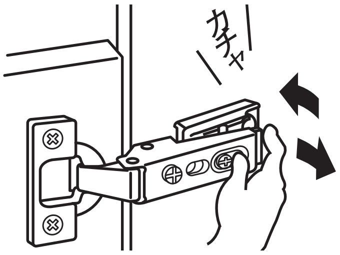
ゆるんでいたら締め直してください。ネジ調整が必要です。扉の調整の説明（P44）をよく読んでください。



■扉がはずれた

扉の吊り元の丁番がはずれていませんか？

ワンタッチ丁番ですのでスムーズに取付けできます。扉の取外しの説明（P44）をよく読んでください。



本製品のホルムアルデヒド発散区分

表示内容					
1	商品名	システムキッチンサンヴァリエ<リシェル>	6	ホルムアルデヒド発散材料区分詳細	P B F☆☆☆☆ MDF F☆☆☆☆ 合板 F☆☆☆☆ 接着剤 F☆☆☆☆
2	企業名	株式会社LIXIL			
3	ホルムアルデヒド発散区分	内装仕上げ部分及び下地部分とも F☆☆☆☆			
4	表示ルール	「住宅部品表示ガイドライン」 キッチン・バス工業会表示指針による。	7	本表示に関するお問い合せ先	お客さま相談センター 0120-1905-21
5	製造番号又は年月日	キャビネット本体に貼付の検査証によりご確認下さい。			

VOC放散性能	4VOC基準適合（木質建材）
表示ルール	住宅部品VOC表示ガイドラインによる

※4VOCとは、トルエン・キシレン・エチルベンゼン・スチレンを示す。

MEMO

アフターサービスについて

ご不審な点や故障のおきた際には、お買い求めいただいた販売店か、修理受付センターまでご連絡ください。

1 点検・修理を依頼されるとき

●商品に不具合がありましたら､再度､本説明書の故障･修理のページをお読みいただき､一度調整してみてください。
●調整しても直らない場合や、記載している以外の不具合がある場合は、ご自分で修理しないで、お買い求めいただいた販売店か、修理受付センターまでご連絡ください。

⚠ **警告** 修理技術者以外の人は絶対に取付を行わないでください。
思わぬ事故が発生しケガをするおそれがあります。

■お申し込みの際には、次のことをご確認ください。

●保証書をご覧になって保証期間中か、保証期間を経過しているかを確認してください。

保証期間中の修理	保証期間経過後の修理
修理に関して必ず保証書をご提示ください。 保証期間中は保証の規定に従って修理させていただきます。	修理によって機能が維持できる場合は、お客さまのご要望によって修理いたします。 料金の内訳は、技術料＋出張料・部品代です。

連絡していただきたい内容

1．おなまえ・おところ・電話番号

2．商品名・品番
品番と製造番号をお知らせください。（キャビネット内側に貼付している「検査証」に記載されています。）
システムキッチン本体以外の組み込み機器などについては､専用取扱説明書と製品本体に品名表示があります。

3．故障内容
不具合の状況をできるだけ詳しくお知らせください。

4．ご訪問希望日

当社は、当社がお客様から直接ご提供いただいたお客様の個人情報は、流通業者様等から間接的に取得いたしましたお客様の個人情報および流通業者様等の個人情報を、アフターメンテナンス等、当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。

2 サービス部品（補修用性能部品）について

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後６年です。（BL認定品は10年）
この保有期間を修理対応可能な期間とさせていただきます。
＊補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。
＊一部の部品（例えば、キャビネットの扉、ワークトップ）につきましては、同一部品で修理できない場合がありますので、ご了承願います。
＊システムキッチン以外の組み込み機器の補修用性能部品最低保有期間については、それぞれの専用取扱説明書をご覧ください。

3 廃棄処分について

廃棄処分の際は必ず許可を受けた専門業者に依頼してください。

LIXIL sunwave

保証書

本書は、本書記載内容で、無料修理を行うことをお約束するものです。下記保証期間内に故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、お買い求めの販売店または取扱説明書記載の修理受付センターに修理をご依頼ください。

＊品番・取付日・お客さま・販売店の欄に記載のない場合は、無効になります。

無効

品　　名	システムキッチン　サンヴァリエ　<リシェル>		
保証期間	取付日より　2ケ年（注1）（注2）		取付日
お客さま	おなまえ		販売店名
	おところ		
	おでんわ	（　　　）　－	（　　　）　－

お客さまへ

（注１）取付日とは、
- 改修工事の場合は、改修部分の工事の完了日とします。
- 分譲住宅（建売住宅）、分譲および賃貸マンションの場合は、建築物が建築主さまへ引渡しされた日とします。
- 建築主様が直に取付される場合は、購入日とします。

（注２）レンジフードや加熱機器、食器洗い乾燥機などの機能機器に関する保証期間、保証条件などは、各々の保証書に関する書面に従います。
- 保証書は再発行しませんので、紛失されないよう大切に保管してください。

無料修理規定（保証規定）

1．「取扱説明書」・「ラベル」などの注意書に従った正常な使用・維持管理状態で、保証期間内に故障した場合、無料修理いたします。
2．無償修理をお受けになる場合、お買い求めの販売店または取扱説明書に記載の修理受付センターにご依頼ください。
3．保証期間内でも、以下の場合、有料修理とさせていただきます。（免責事項）
（1）住宅用途以外（車輌、船舶及び使用頻度が極度に高い業務用等）に使用した場合の故障及び損傷等の不具合
（2）指定業者や取付設置説明書等に基づかない取付に起因する不具合
（3）お客さまが適切な使用・維持管理を行わなかった事による故障及び損傷等の不具合
（4）専門業者以外による移動・修理・分解、加工、管理、メンテナンスなどに起因する不具合
（5）建築躯体の変形（強度不足・ゆがみ）等製品以外の不具合に起因する当該製品の不具合
（6）経年変化使用に伴う外観上の現象（塗装の色あせ、もらい錆等）または使用に伴う消耗部品の磨耗等により生じる不具合
（7）海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気循環及び公害環境（煤煙、塩害、砂塵、各種金属粉、硫化水素ガスなど各種ガス）に起因する不具合
（8）小動物（犬、猫、ねずみ、小鳥、昆虫等）の行為または蔓（つる）や根などの植物の害に起因する不具合
（9）天災地変（火災、爆発等事故、落雷、地震、噴火、風水害、津波、地盤沈下、凍結、雪害等）に起因する不具合による故障及び損傷
（10）戦争、暴動等破壊行為または犯罪等の不法行為に起因する破損や不具合
（11）自然現象や住環境に起因する結露・染み出し・かび等の現象
（12）消耗品（パッキン）類、配管中の異物のつまり等による故障および損傷
（13）水道水以外を給水したことによって生じた故障及び損傷（＊水道水とは水道事業体が供給する上水をいう。）
（14）保証書の期限切れまたは提示がない場合
（15）本書のお取付日、お客さまのお名前、販売店名の記入のない場合、あるいは字句の書き換えられた場合
4．本書は日本国内においてのみ有効です。
5．本書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従って、本書によって、お客さまの法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理など、ご不明な場合、お買求めの販売店または取扱説明書に記載の修理受付センターにお問い合わせください。
6．修理に必要な補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後、6ヶ年です。

《個人情報の取り扱い》

当社は、当社がお客様から直接ご提供いただいたお客様の個人情報、流通業者様等から間接的に取得いたしましたお客様の個人情報および流通業者様等の個人情報を、アフターメンテナンス等、当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。 個人情報の取り扱いについての詳細は、当社ホームページの「プライバシーポリシー」をご参照下さい。

株式会社 LIXIL

会社や商品についての情報のご確認は、下記ホームページまで

http://www.lixil.co.jp/

修理のご依頼は、LIXIL修理受付センターまで

受付時間/9:00～19:00（年末年始の休みは除く）

TEL.0120-0000-72　FAX.0570-02-7027

商品についての技術的なお問合せは、LIXILお客様相談センターまで

受付時間/平日9：00～18：00　土・日祝9：00～17：00（年末年始の休みは除く）

TEL.0120-1905-21　FAX.0570-02-0828

2013.11.IB

（No 6742643）